

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局(43) 国際公開日  
2002年10月10日 (10.10.2002)

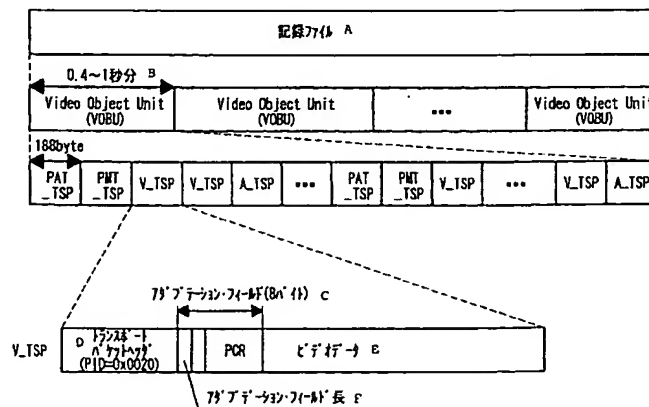
PCT

(10) 国際公開番号  
WO 02/080541 A1

- (51) 国際特許分類<sup>7</sup>: H04N 5/92 (72) 発明者; および  
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 伊藤 正紀  
(ITO, Masanori) [JP/JP]; 〒570-0096 大阪府 守口市 外  
(21) 国際出願番号: PCT/JP02/03034 島町6番西2-320号 Osaka (JP).  
(22) 国際出願日: 2002年3月28日 (28.03.2002) (74) 代理人: 特許業務法人池内・佐藤アンドパートナーズ  
(IKEUCHI SATO & PARTNER PATENT ATTOR-  
(25) 国際出願の言語: 日本語 NEYS); 〒530-6026 大阪府 大阪市 北区天満橋1丁目8  
番30号OAPタワー26階 Osaka (JP).  
(26) 国際公開の言語: 日本語 (81) 指定国 (国内): CN, JP, KR, US.  
(30) 優先権データ: (84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE,  
特願2001-096561 2001年3月29日 (29.03.2001) JP DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR).  
特願2001-161930 2001年5月30日 (30.05.2001) JP  
特願2001-300999 2001年9月28日 (28.09.2001) JP  
(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 松下電  
器産業株式会社 (MATSUSHITA ELECTRIC INDUS-  
TRIAL CO., LTD.) [JP/JP]; 〒571-8501 大阪府 門真市  
大字門真1006番地 Osaka (JP).  
添付公開書類:  
— 国際調査報告書  
2文字コード及び他の略語については、定期発行される  
各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語  
のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: AV DATA RECORDING/REPRODUCING APPARATUS AND METHOD AND DISC ON WHICH DATA IS  
RECORDED BY THE AV DATA RECORDING/REPRODUCING APPARATUS OR METHOD

(54) 発明の名称: AVデータ記録再生装置及び方法、当該AVデータ記録再生装置又は方法で記録されたディスク



A...RECORDING FILE D...TRANSPORT PACKET  
B...0.4 TO 1 SECONDS E...VIDEO DATA  
C...ADAPTATION FIELD (8 BYTES) F...ADAPTATION FIELD LENGTH

(57) Abstract: An AV data recording/reproducing apparatus and method capable of reliably reproducing all the frames in the apparatus or via the 1394 interface even when the reproduction start point is in the middle of a file. The apparatus includes a video recording block for recording video data as a video file composed of an MPEG transport packet, and a video reproducing block for recording, immediately before a transport packet containing a GOP header in the video file, a transport packet containing a PAT (program association table) and a transport packet containing a PMT (program map table) and reproducing video data composed of an MPEG transport packet. When reproduction is started at the beginning of the GOP header contained in the video data, the transport packet containing the PAT and the transport packet containing the PMT and after are reproduced.

[続葉有]



---

(57) 要約:

ファイルの途中を再生開始点とした場合であっても、確実に全フレームを機器内で再生したり、1394インタフェースを介して再生することができるAVデータ記録再生装置及び方法を提供する。映像データをMPEGトランスポートパケットから構成される映像ファイルとして記録する映像記録部を有し、映像ファイル内のGOPヘッダを含むトランスポートパケットの直前にPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケット、及びPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットを記録し、MPEGトランスポートパケットから構成される映像データを再生する映像再生部を有し、映像データに含まれるGOPヘッダの先頭から再生する場合に、PATを含むトランスポートパケット及びPMTを含むトランスポートパケット以降を再生する。

## 明細書

A Vデータ記録再生装置及び方法、当該A Vデータ記録再生装置又は方法で記録されたディスク

## 技術分野

- 5 本発明は、リアルタイムで映像データ及び音声データを圧縮して光ディスク等の記録媒体へ記録するA Vデータ記録再生装置及び方法に関する。

## 背景技術

映像データを低いビットレートで圧縮する方法として、MPEG 2規格 (ISO/IEC 13818-1) で規定されているシステムストリームがある。当該システムストリームとしては、プログラムストリーム、トランスポートストリーム、及びPES (Packetized Elementary Stream) ストリームの3種類が規定されている。

一方、磁気テープに代わる映像記録媒体として相変化光ディスク (例えばDVD-RAMやMVDISC) やMO (光磁気ディスク) 等の光ディスクが注目を浴びてきている。

例えば、DVD-RAM上に映像を記録するための規格として、VIDEO RECORDING規格 (DVD Specifications for Rewritable/Re-recordable Discs Part 3 VIDEO RECORDING Version 1.0 September 1999) がある。この規格はDVD-RAMディスク上にMPEG 2規格のプログラムストリームから成る映像ファイルを記録再生するためのものである。

また、相変化光ディスク上にISO/IEC 13818-1で規定

されるMPEG2のトランスポートストリームから成る映像ファイルを記録再生する場合もある。この時、映像データはISO/IEC 13818-2で規定されるMPEG2で圧縮され、音声データは例えばISO/IEC 13818-7で規定されるMPEG2-AAC (Advanced Audio Coding) で圧縮される。

第1図に、従来の相変化光ディスクを使ったトランスポートストリームのリアルタイム記録再生装置の構成図を示す。映像信号及び音声信号の記録時は、映像信号入力部100及び音声信号入力部102から入力した信号を各々映像圧縮部101及び音声圧縮部103で圧縮し、次にシステムエンコード部104においてPAT/PMT生成部105が生成するPATを含むパケット及びPMTを含むパケットを圧縮された映像信号及び音声信号に混ぜてトランスポートストリームを作成し、記録部120、及びピックアップ130を経由して相変化光ディスク131へ書き込む。映像圧縮部101、音声圧縮部103、システムエンコード部104、及びPAT/PMT生成部105はMPEGエンコーダ170を構成する。

映像信号及び音声信号の再生時は、ピックアップ130、及び再生部121を経由して取り出したトランスポートストリームをシステムデコード部114で映像信号と音声信号に分離し、各々映像伸長部111及び音声伸長部113を介して、映像表示部110及び音声出力部112へ出力する。映像伸長部111、音声伸長部113、及びシステムデコード部114はMPEGデコーダ171を構成する。

映像信号及び音声信号の記録時には、記録制御部161が記録部120、連続データ領域検出部160及び論理ブロック管理部163の制御を行い記録を実施する。このとき、連続データ領域検出部160は、記録制御部161の指示によって、論理ブロック管理部163において管



理されるセクタの使用状況を調べて、物理的に連続する空き領域を検出する。

映像信号及び音声信号の再生時には、再生制御部 1 6 2 が再生部 1 2 1 の制御を行い、再生を実施する。

- 5 記録された映像ファイルを I E E E 1 3 9 4 インタフェース部 1 4 0 経由の I s o c h r o n o u s 転送モードで外部に出力する場合、再生部 1 2 1 を経由して読出したトランスポートストリームを出力タイミング生成部 1 4 1 で送出タイミングを求め、算出された送出タイミングに応じて当該トランスポートストリームを 1 3 9 4 インタフェース部 1 4 10 0 へ渡すことになる。

- また、第 1 1 図は、相変化光ディスク 1 3 1 にリアルタイムで映像記録する場合の記録形態を示している。第 1 1 図においては、相変化光ディスクは 2 K バイトのセクタから構成され、1 6 個のセクタを 1 つの論理ブロックとして取り扱い、この論理ブロックごとに誤り訂正符号を付与して相変化ディスクへ記録するようになっている。

- さらに、少なくとも所定時間分のデータサイズ（最大記録再生レート換算で例えば 1 1 秒分のデータ）を有する物理的に連続する論理ブロックを 1 つの連続データ領域として確保し、この領域へ 0. 4 ~ 1 秒分の M P E G トランスポートストリームからなる単位ビデオパケット（V i d e o O B j e c t U N I T : 以下、「VOBU」という。）を順に記録する。

- 1 つの VOBU は、1 8 8 バイト単位の M P E G トランスポートストリームの下位階層であるトランスポートパケットから構成されている。トランスポートパケットは、ビデオ圧縮データが格納されたビデオトランスポートパケット（V \_ T S P）、オーディオ圧縮データが格納されたオーディオトランスポートパケット（A \_ T S P）、プログラム・ア

ソシエーション・テーブル・パケット (PAT) が格納されたトランスポートパケット (PAT\_TSP)、及びプログラム・マップ・テーブル (PMT) が格納されたトランスポートパケット (PMT\_TSP) の4種類から構成されている。

- 5      また、1つのVOBUには対応する時間のV\_TSPが全て含まれる。さらに、1つのVOBUにはタイミング的に必要となる音声フレームを含むA\_TSPが全て含まれる。すなわち、VOBU内で音声フレームが完結する。また、1つのVOBUのデータサイズは、映像が可変ビットレートであれば最大記録再生レート以下の範囲で変動する。映像が
- 10   固定ビットレートであればVOBUのデータサイズはほぼ一定である。

- 第12図は、V\_TSP、A\_TSP、PAT\_TSP、及びPMT\_TSPの詳細を示している。第12図に示すように、V\_TSPはトランスポートパケットヘッダとビデオデータから構成され、A\_TSPはトランスポートパケットヘッダとオーディオデータから構成され、P
- 15   PAT\_TSPは主にトランスポートパケットヘッダ、及びプログラム・アソシエーション・テーブルから構成され、PMT\_TSPは主にトランスポートパケットヘッダ及びプログラム・マップ・テーブルから構成されている。また、V\_TSPにPCR (プログラム・クロック・リファレンス) が付加される場合は、第12図に示すようにトランスポート
- 20   パケットヘッダに隣接するアダプテーション・フィールド内にPCR値が記録される。

- V\_TSP、A\_TSP、PAT\_TSP、及びPMT\_TSPの4つは、トランスポートパケットヘッダ内のPID (Packet ID) で識別される。例えば第12図に示すように、V\_TSPはPID = "0 x 0
- 25   0 2 0"、A\_TSPはPID = "0 x 0 0 2 1"、PAT\_TSPはPID = "0 x 0 0 0 0"、PMT\_TSP = "0 x 0 0 3 0" を検出

することにより識別される。

ここで、V\_\_TSP及びA\_\_TSP用のPIDの割り当て状況はPMT\_\_TSP内のプログラム・マップ・テーブルに記載される。また、PMT\_\_TSP用のPIDはPAT\_\_TSP内のプログラム・アソシエ  
5 ション・テーブルに記載される。なお、PAT\_\_TSP用のPIDは“0x0000”の固定値をとる。

PCRは、トランスポートパケットが仮想的なMPEGデコーダに到着した時刻を27MHzのクロックのサンプル値で表現するものである。このPCRは、特定のPIDを有するトランスポートパケット内に少  
10 なくとも100ms以内の任意のタイミングで挿入することがMPEG2規格（ISO/IEC 13818-1）において規定されている。また、PMT内のPCR\_\_PIDフィールドにPCRを入れるためにどのPIDが選択されたかが記録される。このPCRは、受信側の装置において、27MHzのクロックにPCR値を入力してPLL（Phase  
15 Lock Loop）をかけ、さらに表示タイミング値や復号タイミング値の基準値を得るために使用される。すなわち、受信側では27MHzのクロックを初期値としてPCRの値をセットし、以降はPCRの値をPLLに入力することにより、送信側のクロックを再生する。そして、そのクロック値がビデオデータに含まれる表示タイミング値（プレゼンテーション・タイム・スタンプ、PTS）や復号タイミング値（デコーディング・タイム・スタンプ、DTS）と一致するタイミングでビデオデータを表示及び復号することにより映像の表示処理を実施する。オーディオデータの場合はPTSのみが含まれる点がビデオデータと異なるが、同様にPTSと一致するタイミングで復号処理及び出力処理が実施され  
20 25 る。

AVデータ記録再生装置の連続データ領域検出部は、1つの連続デー

タ領域の残りが少なくなった時点で、次の連続データ領域の再検出を行う。そして、1つの連続データ領域が一杯になると、次の連続データ領域に書き込みを行う。

また、第13図は光ディスク上の記録内容がUDF (Universal Disk Format) ファイルシステムによって管理されている状態の例を示している。第13図においては、記録開始ボタンのオンとオフの各1回の操作により、1つのMPEGトランスポートストリームがファイルMOVIE.MPGとして記録される場合を示している。

10 第13図に示すように、ファイル名及びファイルエントリの位置についてはFID (File Identifier Descriptor) で管理されている。また、ファイルエントリ内のアロケーションディスクリプタを使って、1つのファイルとそのファイルを構成する3つの連続データ領域a、b、cを管理している。

15 連続データ領域が3つに分れる経緯について説明する。まず記録制御部161が連続データ領域aへの記録中に不良論理ブロックを検出すると、当該不良論理ブロックをスキップして、連続データ領域bの先頭から書き込みを継続することになる。

また、記録制御部161が連続データ領域bへの記録中にPCファイルの記録領域を検出すると、今度はPCファイルの記録領域をスキップして、連続データ領域cの先頭から書き込みを継続することになる。この結果、ファイルMOVIE.MPGは連続データ領域a、b、cの3つの領域から構成されることになる。

また、第14図はVOBU及びトランスポートパケットと、ビデオ・エレメンタリ・ストリーム及びオーディオ・エレメンタリ・ストリームとの関係を示す。ここでは、1個のVOBUはM個のGOP (グループ

25

・オブ・ピクチャ) から構成されるものとする。

各ビデオ・フレーム及び各オーディオ・ヘッダは、フレームごとに P E S ヘッダを含んでいる。また、1 個の V O B U は、先頭にシーケンスヘッダを含んでいる。各 G O P は G O P ヘッダを含んでいる。

- 5     そして、各 V O B U における先頭のビデオ又はオーディオの P E S ヘッダが、各々のトランスポートパケットのペイロードの先頭から始まるように、直前のトランスポートパケットに P a d d i n g を挿入してトランスポートストリームのデータサイズを調整している。

- 10     P A T \_ T S P 及び P M T \_ T S P は、ビデオデータが格納されている P I D 及びオーディオデータが格納されている P I D を格納する。したがって、少なくともこの 2 つの P I D を認識できなければ映像を再生することはできないことになる。

- 15     また、復号時に P T S 及び D T S を基準として復号タイミングや出力タイミングを制御するためには、いち早く 2 7 M H z のクロック値を適切な値に初期化する必要がある。そのためには、M P E G デコーダが P C R 値をできるだけ早く受け取り、その値をクロック値として使用開始することが必要となる。

- 20     しかしながら、M P E G 2 規格 ( I S O / I E C 1 3 8 1 8 - 1 ) 上は P A T \_ T S P 、 P M T \_ T S P 、 及び P C R の挿入タイミングは規定されていない。また、P C R の挿入頻度は規定されているが、一方 P A T \_ T S P 及び P M T \_ T S P の挿入頻度は規定されていない。

- 25     一方、ディスクを記録媒体とする A V データ記録再生装置は、映像における特定のシーンをユーザの好みの順番で再生する機能を有するものが多い。この時、特定のシーンの再生するには、シーケンスヘッダの先頭から映像データの再生を開始するのが一般的である。

ところが、一般に再生開始点となるシーケンスヘッダの先頭を含む V

\_\_TSPに対するPAT\_\_TSP、PMT\_\_TSP、PCRの挿入タイミングは何も規定されていないことから、再生部121がシーケンスヘッダの先頭からデータを読み出したとしても、PAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPが未読であればシステムデコード部114がPIDを参照してV\_\_TSP及びA\_\_TSPを認識することができず、PAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPを検出するまで伸長処理に入ることができないという問題点があった。

このように、PAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPが未読であるために、例えばシーケンスヘッダ直後のIピクチャが認識できなかった場合、次のシーケンスヘッダまで映像を表示することができない。このことにより、典型的には0.5～1.0秒程度の映像及び音声が出力されないことになる。

さらに、特定のシーンを順次切り換えながら再生する場合には、各シーンごとにPAT\_\_TSP、PMT\_\_TSPに登録されたPIDが異なる場合もある。また、PAT\_\_TSP、PMT\_\_TSPに含まれるディスクリプタ情報も各シーンごとに異なる場合もある。このことから、PAT\_\_TSP、PMT\_\_TSPは、少なくともシーンごとに、適切な内容のものをできるだけ早期にMPEGデコーダに渡す必要がある。

特に、1394インタフェースで接続したSTB（セットトップボックス）やDTV（デジタルテレビ）へISO-61883のトランスポートストリームの転送プロトコルを使用して伝送する場合には、PAT\_\_TSP、PMT\_\_TSP、及びPCRの伝送が重要になる。使用されたPIDやPCRの値等をトランスポートストリームとは別に伝送する手段がないからである。

一方、AVデータ記録再生装置のMPEGデコーダで再生する場合は、使用されたPIDやPCRの値等をMPEGストリームとは別の径路

(例えば、MPEGデコーダに接続されたCPUを経由させる等)で別のデータ構造により伝える方法がある。しかし、シーンごとに必要な情報を別の径路より伝達するには、各VOBU単位でPIDに関する情報や先頭のPCR値の情報を記録時に記録しておき、それらの情報をシーンが切り替わる前にMPEGデコーダへ伝達する必要がある。この方法では、VOBU単位でPID及びPCR値を管理データとして記録しておく必要があり、データ容量が大きくなってしまう。また、AVデータ記録再生装置のMPEGデコーダで再生する同時に、1394インタフェースへ出力し、かつ両方に全く同じ映像を再生することを実現する場合、この方法では不十分である。

さらに、パソコンのハードディスク上に蓄積されたストリームを、パソコン上で動作するMPEG再生ソフトで再生する場合にも、特定のシーンの開始時に、PAT\_TSP、PMT\_TSP、及びPCRがシーンの途中から記録される場合は、その途中以降の最初のシーケンスヘッダから映像が表示されるという問題があった。もしくは、PAT\_TSP、PMT\_TSP、及びPCRを検出後、再生開始地点へもう一度戻って、再生を開始する必要がある。このことは、再生開始の遅れ、及びシーン切り換えの遅れの原因となっている。

#### 発明の開示

本発明は、上記問題点を解決するために、ファイルの途中を再生開始点とした場合であっても、容易に指定された範囲の全フレームを機器内で再生し、かつ同じフレームが1394インタフェースを介した接続先の機器で再生することができるAVデータ記録再生装置及び方法を提供することを目的とする。

上記目的を達成するために本発明にかかるAVデータ記録装置は、映像データを、MPEGトランスポートパケットを含む単位パケットが連

続するデータとして記録する映像記録部を有し、映像データ内のシーケ  
ンスヘッダを含むトランスポートパケットの前の所定の位置にPAT（  
プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパ  
ケット、及びPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポ  
5 ートパケットを所定の間隔で記録することを特徴とする。

かかる構成により、ユーザが設定可能な再生開始点をVOBUの先頭  
とした場合において、どのVOBUの先頭が指定されたとしても、必ず  
先頭にはPAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPが含まれていることになる  
ことから、以降の全トランスポートパケットについて、容易に映像デー  
10 タと音声データとを識別することができ、確実なリアルタイム再生表示  
を行うことができる記録形態で記録することが可能となる。

また、本発明にかかるAVデータ記録装置は、所定の位置が、直前の  
位置であることが望ましい。さらに、本発明にかかるAVデータ記録装  
置は、所定の間隔が、0.4秒以上1秒以下であることが好ましい。

15 また、本発明にかかるAVデータ記録装置は、データの記録位置に関  
する情報を記録する管理情報記録部をさらに含み、記録位置が、PAT  
の前の第2の所定の位置であることが好ましく、第2の所定の位置は、  
PATの直前の単位パケットの位置であることがより好ましい。さらに  
、本発明にかかるAVデータ記録装置は、シーケンスヘッダを含むトラ  
20 ンスポートパケットが、PCR（プログラム・クロック・リファレンス  
）を含むことが好ましい。外部からトランスポートストリームが入力さ  
れてきた場合において、どのシーケンスヘッダを含むトランスポートパ  
ケットが再生開始点とされた場合であっても、必ずPAT\_\_TSP、P  
MT\_\_TSP、及びPCRが含まれることになるため、以降のトランス  
25 ポートストリームについて、確実にリアルタイム再生を行うことができ  
るようになるからである。



次に、上記目的を達成するために本発明にかかるＡＶデータ記録装置は、トランスポートパケット入力部と、トランスポートパケットに含まれる情報から管理情報を生成する管理情報生成部と、トランスポートパケット及び管理情報を記録する記録部を有し、管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含むトランスポートパケットの位置情報を含むことを特徴とする。

また、本発明にかかるＡＶデータ記録装置は、トランスポートパケット入力部と、トランスポートパケットに関する管理情報を生成する管理情報生成部と、トランスポートパケット及び管理情報を記録する記録部を有し、管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含むトランスポートパケットに対して最も近い過去に入力したPCRを含むトランスポートパケットに対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットに対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケットの位置情報を含むことを特徴とする。

かかる構成により、外部からトランスポートストリームが入力されてきた場合において、どのVOBUの先頭が指定されたとしても、必ずPAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPが含まれていることになることから、以降の全トランスポートパケットについて、確実なリアルタイム再生表示を行うことができる記録形態で記録することが可能となる。

また、本発明にかかるＡＶデータ記録装置は、トランスポートパケット入力部と、トランスポートパケットに関する管理情報を生成する管理情報生成部と、トランスポートパケット及び管理情報を記録する記録部を有し、管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含むトランスポートパケットの所定の時間前に入力したトランスポートパケットの

位置情報を含むことを特徴とする。

かかる構成により、外部からトランスポートストリームが入力されてきた場合において、どのシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットが再生開始点とされた場合であっても、必ずPAT\_\_TSP、PMT\_\_TSP、及びPCRが含まれることになるため、以降のトランスポートストリームについて、確実にリアルタイム再生を行うことができるようになる。さらに、所定の時間が、100msec、又は300msecであることがより好ましい。

また、本発明にかかるAVデータ記録装置は、トランスポートパケット入力部と、トランスポートパケットに関する管理情報を生成する管理情報生成部と、トランスポートパケット及び管理情報を記録する記録部を有し、管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含むトランスポートパケット以降に入力した最初のPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットの位置情報と、シーケンスヘッダを含むトランスポートパケット以降に入力した最初のPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケットの位置情報とを含むことを特徴とする。

かかる構成によっても、外部からトランスポートストリームが入力されてきた場合において、どのVOBUの先頭が指定されたとしても、必ずPAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPが含まれていることになることから、以降の全トランスポートパケットについて、確実なリアルタイム再生表示を行うことができる記録形態で記録することが可能となる。

また、本発明にかかるAVデータ記録装置は、音声データを、MPEGトランスポートパケットを含む単位パケットが連続するデータとして記録する音声記録部を有し、音声記録部において、所定数の音声フレームを含むトランスポートパケットの直前にPAT（プログラム・アソシ

ェーション・テーブル)を含むトランスポートパケットと、PMT(プログラム・マップ・テーブル)を含むトランスポートパケットを記録することを特徴とする。

かかる構成により、外部から音声ストリームが入力されてきた場合に  
5 おいて、どのAOBUの先頭が指定されたとしても、必ずPAT\_TSP及びPMT\_TSPが含まれていることになることから、確実に先頭音声フレームから再生することが可能となる。

また、本発明にかかるAVデータ記録装置は、所定数の音声フレームが、100msec分以下であることが好ましい。

10 また、本発明にかかるAVデータ記録装置は、シーケンスヘッダを含むトランスポートパケット、又はPAT(プログラム・アソシエーション・テーブル)を含むトランスポートパケット、あるいはPMT(プログラム・マップ・テーブル)を含むトランスポートパケットがPCR(プログラム・クロック・リファレンス)を含むことが好ましい。

15 このようにすることで、ユーザが設定可能な再生開始点をシーケンスヘッダの先頭とした場合において、どのシーケンスヘッダの先頭が指定された場合であっても、必ず先頭に位置するPAT\_TSP、PMT\_TSP、又はV\_TSPのいずれかがPCRを含み、さらにそのPCR値と正しく関連したPTS値及びDTS値をPESパケット内に含むこと  
20 になる。

したがって、PTS及びDTS値よりも確実に前にPCRを伝達することができるようになることから、指定されたシーケンスヘッダ内の最初のフレームから確実なリアルタイム再生を行うことが可能となる。

また、本発明にかかるAVデータ記録装置は、シーケンスヘッダの一部がシーケンス・スタート・コードの第1バイト又は最終バイトである  
25 ことが好ましい。外部から入力するトランスポートストリームを記録す

る場合に、管理単位（後述するSOBU）の先頭を容易に検出することができるからである。

また、本発明にかかるAVデータ記録装置は、所定数の音声フレームを含むトランスポートパケットのうち、先頭に位置するトランスポート  
5 パケットがPCR（プログラム・クロック・リファレンス）を含むことが好ましい。

このようにすることで、ユーザが設定可能な再生開始点を所定数の音声フレーム単位とした場合において、どの音声フレームが指定された場合であっても、必ず先頭に位置するPAT\_TSP、PMT\_TSP、  
10 又はA\_TSPのいずれかがPCRを含み、さらにそのPCR値と正しく関連したPTS値をその直後のPESパケット内に含むことになる。

したがって、PTS値よりも確実に先にPCRを伝達することができるようになることから、指定された再生開始点の最初のフレームから確実なリアルタイム再生を行うことが可能となる。

15 また、本発明にかかるAVデータ記録装置は、トランスポートパケット入力部と、トランスポートパケットに関する管理情報を生成する管理情報生成部と、トランスポートパケット及び管理情報を記録する記録部を有し、管理情報が、複数のトランスポートパケットからなるグループの先頭のトランスポートパケットの位置情報と、グループの入力経過時間  
20 情報とを含むことを特徴とする。

かかる構成により、シーケンスヘッダの検出やフレーム数のカウントが不要になることから、管理情報の作成が容易となる。

また、本発明にかかるAVデータ記録装置は、トランスポートパケット入力部と、トランスポートパケットに関する管理情報を生成する管理  
25 情報生成部と、トランスポートパケット及び管理情報を記録する記録部を有し、管理情報が、複数のトランスポートパケットからなるグループ

の先頭のトランスポートパケットの位置情報と、グループ内で共通に含まれるPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）及びPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むことを特徴とする。

かかる構成により、外部からトランスポートストリームが入力されてきた場合において、どのグループの先頭が再生開始点として指定された場合であっても、必ずPAT\_TSP及びPMT\_TSPを送出できることになることから、以降の全トランスポートパケットについて、確実なリアルタイム再生を行うことが可能となる。

また、本発明にかかるAVデータ記録装置は、トランスポートパケット入力部と、トランスポートパケットに関する管理情報を生成する管理情報生成部と、トランスポートパケット及び管理情報を記録する記録部を有し、トランスポートパケットがN個の映像を並列に含み、管理情報がN個の映像に含まれるシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットの位置情報を含むことを特徴とする。

かかる構成により、複数トラックの映像データを記録する場合においても、上記と同様の効果が期待できる。

また、本発明にかかるAVデータ記録装置は、管理情報が、N個の映像に対する位置情報を並列に含むことが好ましい。

次に上記目的を達成するために本発明にかかるAVデータ再生装置は、MPEGトランスポートパケットを含む単位パケットから構成される映像データを再生する映像再生部を有し、映像データはシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットの前の所定の位置にPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケット及びPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットを含み、映像データに含まれるシーケンスヘッダから再生する場合に、PATを含むトランスポートパケット及びPMTを含むトランスポー

ト packets 以降を再生することを特徴とする。

- かかる構成により、ユーザが設定可能な再生開始点をVOBUの先頭とした場合において、どのVOBUの先頭が指定されたとしても、必ず先頭にはPAT\_TSP及びPMT\_TSPが含まれていることになる
- 5    ことから、以降の全トランスポート packets について、容易に映像データと音声データとを識別することができ、確実なリアルタイム再生表示を行うことが可能となる。なお、所定の位置は、直前の位置であることが好ましい。

- また、本発明にかかるAVデータ再生装置は、記録媒体からトランス
- 10    ポート packets 及びトランスポート packets に関する管理情報を読み出す読み出し部と、管理情報を参照してシーケンスヘッダの少なくとも一部を含むトランスポート packets から出力を開始する出力部を有し、管理情報が、シーケンスヘッダに対して最も近い過去に出力すべきPCRを含むトランスポート packets に対してさらに過去に遡って最も近い過去
- 15    に出力すべきPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポート packets に対してさらに過去に遡って最も近い過去に出力すべきPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポート packets の位置情報を含み、読み出し部において、トランスポート packets を出力する前に管理情報における位置情報を参照して、PAT
- 20    Tを含むトランスポート packets 及びPMTを含むトランスポート packets を読み出し、出力部において、PATを含むトランスポート packets 、PMTを含むトランスポート packets 、及びPCRを含むトランスポート packets を、シーケンスヘッダを含むトランスポート packets を出力する前に出力することを特徴とする。
- 25    かかる構成により、外部から入力されてきたトランスポートストリームについて、どのVOBUの先頭が指定されたとしても、必ずPAT\_\_

T S P 及び P M T \_ T S P が含まれていることになることから、以降の全トランスポートパケットについて、確実なリアルタイム再生表示を行うことが可能となる。

- また、本発明にかかる A V データ再生装置は、記録媒体からトランス
- 5 ポートパケット及びトランスポートパケットに関する管理情報を読み出す読み出し部と、管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットから出力を開始する出力部を有し、管理情報が、シーケンスヘッダを含むトランスポートパケットよりも所定の時間前に出力すべきトランスポートパケットの位置情報を含み、読み出し部において、
- 10 トランスポートパケットを出力する前に管理情報における位置情報を参照して、所定の時間前に出力すべきトランスポートパケットからシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットまでのトランスポートパケットに含まれている P A T 及び P M T を含むトランスポートパケットを少なくとも読み出し、出力部において、P A T 及び P M T を含むトランス
- 15 ポートパケットを、シーケンスヘッダを含むトランスポートパケットを出力する前に出力することを特徴とする。

- かかる構成により、外部からトランスポートストリームが入力されてきた場合において、どのシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットが再生開始点とされた場合であっても、必ず P A T \_ T S P 、 P M T
- 20 \_ T S P 、 及び P C R が含まれることになるため、以降のトランスポートストリームについて、確実にリアルタイム再生を行うことができるようになる。

- また、本発明にかかる A V データ再生装置は、記録媒体からトランスポートパケット及びトランスポートパケットに関する管理情報を読み出す読み出し部と、管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランス
- 25 ポートパケットから出力を開始する出力部を有し、管理情報が、シーケ

ンスヘッダを含むトランスポートパケット以降に出力すべき最初のPMT  
T（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットの  
位置情報と、シーケンスヘッダを含むトランスポートパケット以降に出  
力すべき最初のPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を  
5 含むトランスポートパケットの位置情報とを含み、読み出し部において  
、管理情報における位置情報を参照して、PMTを含むトランスポート  
パケット及びPATを含むトランスポートパケットを読み出し、出力部  
において、PATを含むトランスポートパケット及びPMTを含むトラ  
ンスポートパケットを、シーケンスヘッダを含むトランスポートパケッ  
10 トを出力する前に出力することを特徴とする。

かかる構成によっても、外部から入力されてきたトランスポートスト  
リームについて、どのVOBUの先頭が指定されたとしても、必ずPAT  
T\_\_TSP及びPMT\_\_TSPが含まれていることになることから、以  
降の全トランスポートパケットについて、確実なリアルタイム再生表示  
15 を行うことが可能となる。

また、本発明にかかるAVデータ再生装置は、記録媒体からトランス  
ポートパケット及びトランスポートパケットに関する管理情報を読み出  
す読み出し部と、管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランス  
ポートパケットから出力を開始する出力部を有し、管理情報が、シーケ  
20 ンスヘッダの位置情報を含み、読み出し部において、管理情報における  
位置情報を参照して、シーケンスヘッダを含むトランスポートパケット  
よりも所定数だけ前のトランスポートパケットを読み出し、出力部にお  
いて、所定数だけ前のトランスポートパケットのうち、最も後ろにある  
PATを含むトランスポートパケットと、最も後ろにあるPMTを含む  
25 トランスポートパケットと、最も後ろにあるPCRを含むトランスポー  
トパケットを、所定の変換後、シーケンスヘッダを含むトランスポート



パケットを出力する前に出力することを特徴とする。

あるいは、本発明にかかるＡＶデータ再生装置は、記録媒体からトランスポートパケット及びトランスポートパケットに関する管理情報を読み出す読み出し部と、管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットから出力を開始する出力部を有し、管理情報が、シーケンスヘッダの位置情報を含み、読み出し部において、管理情報における位置情報を参照して、シーケンスヘッダを含むトランスポートパケットよりも所定数だけ後ろのトランスポートパケットを読み出し、出力部において、所定数だけ前のトランスポートパケットのうち、最も前にあるPATを含むトランスポートパケットと、最も前にあるPMTを含むトランスポートパケットと、最も前にあるPCRを含むトランスポートパケットを、所定の変換後、シーケンスヘッダを含むトランスポートパケットを出力する前に出力することを特徴とする。

かかる構成により、外部から入力されてきたトランスポートストリームがデジタル放送規格に準拠している場合には、挿入頻度に応じた間隔で読み出すことで必ずPAT\_TSP及びPMT\_TSPが含まれていることになることから、以降の全トランスポートパケットについて、確実なリアルタイム再生表示を行うことが可能となる。

また、本発明にかかるＡＶデータ再生装置は、記録媒体に記録されたMPEGトランスポートパケットから構成される音声データを再生する音声再生部を有し、音声データが、所定数の音声フレームを含むトランスポートパケットに対して所定の位置にPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケットと、PMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットとを含み、音声データに含まれる音声フレームの先頭から再生する場合に、PATを含むトランスポートパケット及びPMTを含むトランスポートパケッ

ト以降を再生することを特徴とする。

かかる構成により、外部から音声ストリームが入力されてきた場合において、どのA O B Uの先頭が指定されたとしても、必ずP A T \_ T S P及びP M T \_ T S Pが含まれていることになることから、確実に先頭  
5 音声フレームから再生することが可能となる。なお、本発明にかかるA Vデータ再生装置は、所定の位置が、直前の位置であることが好ましい。

また、本発明にかかるA Vデータ再生装置は、記録媒体からトランスポート packets 及びトランスポート packets に関する管理情報を読み出す読み出し部と、管理情報を参照して指定された出力開始時刻に対応するトランスポート packets から出力を開始する出力部を有し、管理情報が、複数のトランスポート packets からなるグループの先頭のトランスポート packets の位置情報と、グループの出力経過時間情報とを含み、出力部において、出力経過時間情報を参照することにより指定された出力開始時刻から出力開始位置を特定し、以降のトランスポート packets を出力することを特徴とする。  
10 15

かかる構成により、シーケンスヘッダの検出やフレーム数のカウントが不要となることから、管理情報の作成が容易となる。

あるいは、本発明にかかるA Vデータ再生装置は、記録媒体からトランスポート packets 及びトランスポート packets に関する管理情報を読み出す読み出し部と、管理情報を参照して指定された出力開始時刻に対応するトランスポート packets から出力を開始する出力部を有し、管理情報が、複数のトランスポート packets からなるグループの先頭のトランスポート packets の位置情報と、グループが含む復号単位の個数と、  
20 25 グループの出力経過時間情報とを含み、出力部において、復号単位の個数又は出力経過時間情報を参照することにより指定された出力開始時刻

から出力開始位置を特定し、以降のトランスポート packets を出力することを特徴とする。

かかる構成により、特殊再生映像を含むトランスポートストリームが記録されていた場合であっても、入力経過時間情報あるいは出力経過時間情報を参照することにより、再生時間や再生開始箇所を確実に把握することが可能となる。

また、本発明にかかる A V データ再生装置は、記録媒体からトランスポート packets 及びトランスポート packets に関する管理情報を読み出す読み出し部と、管理情報を参照して指定された出力開始時刻に対応するトランスポート packets から出力を開始する出力部を有し、管理情報が、複数のトランスポート packets からなるグループの先頭のトランスポート packets の位置情報と、グループが含む復号単位の個数と、グループの出力経過時間情報とを含み、出力部において、復号単位の個数を参照して算出した出力経過時間と出力経過時間情報とを比較し、経過時間の差が所定の値よりも大きい場合には、出力経過時間情報から出力開始位置を特定し、以降のトランスポート packets を出力することを特徴とする。

かかる構成により、特殊再生用のトランスポートストリーム等を記録する際においても、より正確な時間管理に基づいて正確な頭出しを行うことが可能となる。

また、本発明にかかる A V データ再生装置は、トランスポート packets 入力部と、入力したトランスポート packets を復号して出力する復号部と、トランスポート packets に含まれる P A T (プログラム・アソシエーション・テーブル)、P M T (プログラム・マップ・テーブル)、及び P C R (プログラム・クロック・リファレンス) を抽出して復号部の初期化を実施する初期化部を有し、復号部において、初期化部の処理

が完了するまで入力したトランスポート packets を記憶しておき、初期化部の処理が完了した後で、記憶された PCR を含むトランスポート packets 以降のトランスポート packets から復号処理を開始することを特徴とする。

- 5      かかる構成により、AVデータ再生装置に入力してきたトランスポートストリームの先頭フレームから確実にリアルタイム再生を行うことが可能となる。

次に上記目的を達成するために本発明にかかるAVデータ記録方法は、映像データを、MPEGトランスポート packets を含む単位 packets  
10      が連続するデータとして記録する工程を有し、映像データ内のシーケンスヘッダを含むトランスポート packets の前の所定の位置にPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポート packets、及びPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポート packets を所定の間隔で記録することを特徴とする。

- 15      かかる構成により、ユーザが設定可能な再生開始点をVOBUの先頭とした場合において、どのVOBUの先頭が指定されたとしても、必ず先頭にはPAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPが含まれていることになることから、以降の全トランスポート packets について、容易に映像データと音声データとを識別することができ、確実なリアルタイム再生表示  
20      を行うことができる記録形態で記録することが可能となる。

次に、上記目的を達成するために本発明にかかるAVデータ記録方法は、トランスポート packets を入力する工程と、トランスポート packets に含まれる情報から管理情報を生成する工程と、トランスポート packets 及び管理情報を記録する工程を有し、管理情報が、シーケンスヘッ  
25      ダの少なくとも一部を含むトランスポート packets の位置情報を含むことを特徴とする。

また、本発明にかかるＡＶデータ記録方法は、トランスポートパケットを入力する工程と、トランスポートパケットに関する管理情報を生成する工程と、トランスポートパケット及び管理情報を記録する工程を有し、管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含むトランスポートパケットに対して最も近い過去に入力したPCRを含むトランスポートパケットに対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットに対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケットの位置  
10 情報を含むことを特徴とする。

かかる構成により、外部からトランスポートストリームが入力されてきた場合において、どのVOBUの先頭が指定されたとしても、必ずPAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPが含まれていることになることから、以降の全トランスポートパケットについて、確実なリアルタイム再生表  
15 示を行うことができる記録形態で記録することが可能となる。

また、本発明にかかるＡＶデータ記録方法は、トランスポートパケットを入力する工程と、トランスポートパケットに関する管理情報を生成する工程と、トランスポートパケット及び管理情報を記録する工程を有し、管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含むトランスポートパケットの所定の時間前に入力したトランスポートパケットの位置  
20 情報を含むことを特徴とする。

かかる構成により、外部からトランスポートストリームが入力されてきた場合において、どのシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットが再生開始点とされた場合であっても、必ずPAT\_\_TSP、PMT\_\_TSP、及びPCRが含まれることになるため、以降のトランスポートストリームについて、確実にリアルタイム再生を行うことができるよ  
25

うになる。

また、本発明にかかるA Vデータ記録方法は、トランスポートパケットを入力する工程と、トランスポートパケットに関する管理情報を生成する工程と、トランスポートパケット及び管理情報を記録する工程を有し、管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含むトランスポートパケット以降に入力した最初のPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットの位置情報と、シーケンスヘッダを含むトランスポートパケット以降に入力した最初のPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケットの位置情報とを含むことを特徴とする。

かかる構成によっても、外部からトランスポートストリームが入力されてきた場合において、どのVOBUの先頭が指定されたとしても、必ずPAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPが含まれていることになることから、以降の全トランスポートパケットについて、確実なリアルタイム再生表示を行うことができる記録形態で記録することが可能となる。

また、本発明にかかるA Vデータ記録方法は、音声データを、MPEGトランスポートパケットを含む単位パケットが連続するデータとして記録する工程を有し、音声データを記録する工程において、所定数の音声フレームを含むトランスポートパケットの直前にPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケットと、PMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットを記録することを特徴とする。

かかる構成により、外部から音声ストリームが入力されてきた場合において、どのAOBUの先頭が指定されたとしても、必ずPAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPが含まれていることになることから、確実に先頭音声フレームから再生することが可能となる。

また、本発明にかかるＡＶデータ記録方法は、トランスポートパケットを入力する工程と、トランスポートパケットに関する管理情報を生成する工程と、トランスポートパケット及び管理情報を記録する工程を有し、管理情報が、複数のトランスポートパケットからなるグループの先頭のトランスポートパケットの位置情報と、グループの入力経過時間情報とを含むことを特徴とする。

かかる構成により、シーケンスヘッダの検出やフレーム数のカウントが不要となることから、管理情報の作成が容易となる。

また、本発明にかかるＡＶデータ記録方法は、トランスポートパケットを入力する工程と、トランスポートパケットに関する管理情報を生成する工程と、トランスポートパケット及び管理情報を記録する工程を有し、管理情報が、複数のトランスポートパケットからなるグループの先頭のトランスポートパケットの位置情報と、グループ内で共通に含まれるPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）及びPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むことを特徴とする。

かかる構成により、外部からトランスポートストリームが入力されてきた場合において、どのグループの先頭が再生開始点として指定された場合であっても、必ずPAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPを送出できることになることから、以降の全トランスポートパケットについて、確実なリアルタイム再生を行うことが可能となる。

また、本発明にかかるＡＶデータ記録方法は、トランスポートパケットを入力する工程と、トランスポートパケットに関する管理情報を生成する工程と、トランスポートパケット及び管理情報を記録する工程を有し、トランスポートパケットがN個の映像を並列に含み、管理情報がN個の映像に含まれるシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットの位置情報を含むことを特徴とする。

かかる構成により、複数トラックの映像データを同時に記録する場合においても、上記と同様の効果が期待できる。

次に上記目的を達成するために本発明にかかるＡＶデータ再生方法は、ＭＰＥＧトランスポートパケットを含む単位パケットから構成される  
5 映像データを再生する工程を有し、映像データはシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットの前の所定の位置にＰＡＴ（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケット及びＰＭＴ（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットを含み、映像データに含まれるシーケンスヘッダから再生する場合に、ＰＡ  
10 Ｔを含むトランスポートパケット及びＰＭＴを含むトランスポートパケット以降を再生することを特徴とする。

かかる構成により、ユーザが設定可能な再生開始点をＶＯＢＵの先頭とした場合において、どのＶＯＢＵの先頭が指定されたとしても、必ず先頭にはＰＡＴ＿ＴＳＰ及びＰＭＴ＿ＴＳＰが含まれていることになる  
15 ことから、以降の全トランスポートパケットについて、容易に映像データと音声データとを識別することができ、確実なリアルタイム再生表示を行うことが可能となる。

また、本発明にかかるＡＶデータ再生方法は、記録媒体からトランスポートパケット及びトランスポートパケットに関する管理情報を読み出す工程と、管理情報を参照してシーケンスヘッダの少なくとも一部を含むトランスポートパケットから出力を開始する工程を有し、管理情報が、シーケンスヘッダに対して最も近い過去に出力すべきＰＣＲを含むトランスポートパケットに対してさらに過去に遡って最も近い過去に出力すべきＰＭＴ（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポート  
20 パケットに対してさらに過去に遡って最も近い過去に出力すべきＰＡＴ（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパ



ケットの位置情報を含み、管理情報を読み出す工程において、トランスポートケットを出力する前に管理情報における位置情報を参照して、PATを含むトランスポートケット及びPMTを含むトランスポートケットを読み出し、出力を開始する工程において、PATを含むトランスポートケット、PMTを含むトランスポートケット、及びPCRを含むトランスポートケットを、シーケンスヘッダを含むトランスポートケットを出力する前に出力することを特徴とする。

かかる構成により、外部から入力されてきたトランスポートストリームについて、どのVOBUの先頭が指定されたとしても、必ずPAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPが含まれていることになることから、以降の全トランスポートケットについて、確実なリアルタイム再生表示を行うことが可能となる。

また、本発明にかかるAVデータ再生方法は、記録媒体からトランスポートケット及びトランスポートケットに関する管理情報を読み出す工程と、管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポートケットから出力を開始する工程を有し、管理情報が、シーケンスヘッダを含むトランスポートケットよりも所定の時間前に出力すべきトランスポートケットの位置情報を含み、管理情報を読み出す工程において、トランスポートケットを出力する前に管理情報における位置情報を参照して、所定の時間前に出力すべきトランスポートケットからシーケンスヘッダを含むトランスポートケットまでのトランスポートケットに含まれているPAT及びPMTを含むトランスポートケットを少なくとも読み出し、出力を開始する工程において、PAT及びPMTを含むトランスポートケットを、シーケンスヘッダを含むトランスポートケットを出力する前に出力することを特徴とする。

かかる構成により、外部からトランスポートストリームが入力されて

きた場合において、どのシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットが再生開始点とされた場合であっても、必ずPAT\_TSP、PMT\_TSP、及びPCRが含まれることになるため、以降のトランスポートストリームについて、確実にリアルタイム再生を行うことができるようになる。

また、本発明にかかるAVデータ再生方法は、記録媒体からトランスポートパケット及びトランスポートパケットに関する管理情報を読み出す工程と、管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットから出力を開始する工程を有し、管理情報が、シーケンスヘッダを含むトランスポートパケット以降に出力すべき最初のPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットの位置情報と、シーケンスヘッダを含むトランスポートパケット以降に出力すべき最初のPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケットの位置情報とを含み、管理情報を読み出す工程において、管理情報における位置情報を参照して、PMTを含むトランスポートパケット及びPATを含むトランスポートパケットを読み出し、出力を開始する工程において、PATを含むトランスポートパケット及びPMTを含むトランスポートパケットを、シーケンスヘッダを含むトランスポートパケットを出力する前に出力することを特徴とする。

かかる構成によっても、外部から入力されてきたトランスポートストリームについて、どのVOBUの先頭が指定されたとしても、必ずPAT\_TSP及びPMT\_TSPが含まれていることになることから、以降の全トランスポートパケットについて、確実なリアルタイム再生表示を行うことが可能となる。

また、本発明にかかるAVデータ再生方法は、記録媒体からトランスポートパケット及びトランスポートパケットに関する管理情報を読み出

す工程と、管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポート  
パケットから出力を開始する工程を有し、管理情報が、シーケンスヘッ  
ダの位置情報を含み、管理情報を読み出す工程において、管理情報にお  
ける位置情報を参照して、シーケンスヘッダを含むトランスポートパケ  
5 ットよりも所定数だけ前のトランスポートパケットを読み出し、出力を  
開始する工程において、所定数だけ前のトランスポートパケットのうち  
、最も後ろにあるPATを含むトランスポートパケットと、最も後ろに  
あるPMTを含むトランスポートパケットと、最も後ろにあるPCRを  
含むトランスポートパケットを、所定の変換後、シーケンスヘッダを含  
10 むトランスポートパケットを出力する前に出力することを特徴とする。

あるいは、本発明にかかるAVデータ再生方法は、記録媒体からトラ  
ンスポートパケット及びトランスポートパケットに関する管理情報を読  
み出す工程と、管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポ  
ートパケットから出力を開始する工程を有し、管理情報が、シーケンス  
15 ヘッダの位置情報を含み、管理情報を読み出す工程において、管理情報  
における位置情報を参照して、シーケンスヘッダを含むトランスポート  
パケットよりも所定数だけ後ろのトランスポートパケットを読み出し、  
出力を開始する工程において、所定数だけ前のトランスポートパケット  
のうち、最も前にあるPATを含むトランスポートパケットと、最も前  
20 にあるPMTを含むトランスポートパケットと、最も前にあるPCRを  
含むトランスポートパケットを、所定の変換後、シーケンスヘッダを含  
むトランスポートパケットを出力する前に出力することを特徴とする。

かかる構成により、外部から入力されてきたトランスポートストリー  
ムがデジタル放送規格に準拠している場合には、挿入頻度に応じた間隔  
25 で読み出すことで必ずPAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPが含まれてい  
ることになることから、以降の全トランスポートパケットについて、確

実なリアルタイム再生表示を行うことが可能となる。

また、本発明にかかるＡＶデータ再生方法は、記録媒体に記録された  
ＭＰＥＧトランスポートパケットから構成される音声データを再生する  
工程を有し、音声データが、所定数の音声フレームを含むトランスポー  
5 トパケットに対して所定の位置にＰＡＴ（プログラム・アソシエーショ  
ン・テーブル）を含むトランスポートパケットと、ＰＭＴ（プログラム  
・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットとを含み、音声デ  
ータに含まれる音声フレームの先頭から再生する場合に、ＰＡＴを含む  
トランスポートパケット及びＰＭＴを含むトランスポートパケット以降  
10 を再生することを特徴とする。

かかる構成により、外部から音声ストリームが入力されてきた場合  
において、どのＡＯＢＵの先頭が指定されたとしても、必ずＰＡＴ＿ＴＳ  
Ｐ及びＰＭＴ＿ＴＳＰが含まれていることになることから、確実に先頭  
音声フレームから再生することが可能となる。

15 また、本発明にかかるＡＶデータ再生方法は、記録媒体からトランス  
ポートパケット及びトランスポートパケットに関する管理情報を読み出  
す工程と、管理情報を参照して指定された出力開始時刻に対応するトラ  
ンスポートパケットから出力を開始する工程を有し、管理情報が、複数  
のトランスポートパケットからなるグループの先頭のトランスポートパ  
20 ケットの位置情報と、グループの出力経過時間情報とを含み、出力を開  
始する工程において、出力経過時間情報を参照することにより指定され  
た出力開始時刻から出力開始位置を特定し、以降のトランスポートパ  
ケットを出力することを特徴とする。

かかる構成により、シーケンスヘッダの検出やフレーム数のカウント  
25 が不要となることから、管理情報の作成が容易となる。

あるいは、本発明にかかるＡＶデータ再生方法は、記録媒体からトラ

5        ンспортパッケージ及びトランスポートパッケージに関する管理情報を読み出す工程と、管理情報を参照して指定された出力開始時刻に対応するトランスポートパッケージから出力を開始する工程を有し、管理情報が、複数のトランスポートパッケージからなるグループの先頭のトランスポート

5        トパッケージの位置情報と、グループが含む復号単位の個数と、グループの出力経過時間情報とを含み、出力を開始する工程において、復号単位の個数又は出力経過時間情報を参照することにより指定された出力開始時刻から出力開始位置を特定し、以降のトランスポートパッケージを出力することを特徴とする。

10        かかる構成により、特殊再生映像を含むトランスポートストリームが記録されていた場合であっても、入力経過時間情報あるいは出力経過時間情報を参照することにより、再生時間や再生開始箇所を確実に把握することが可能となる。

15        また、本発明にかかるAVデータ再生方法は、記録媒体からトランスポートパッケージ及びトランスポートパッケージに関する管理情報を読み出す工程と、管理情報を参照して指定された出力開始時刻に対応するトランスポートパッケージから出力を開始する工程を有し、管理情報が、複数のトランスポートパッケージからなるグループの先頭のトランスポートパッケージの位置情報と、グループが含む復号単位の個数と、グループの出

20        力経過時間情報とを含み、出力を開始する工程において、復号単位の個数を参照して算出した出力経過時間と出力経過時間情報を比較し、経過時間の差が所定の値よりも大きい場合には、出力経過時間情報から出力開始位置を特定し、以降のトランスポートパッケージを出力することを特徴とする。

25        かかる構成により、特殊再生用のトランスポートストリーム等を記録する際においても、より正確な時間管理に基づいて正確な頭出しを行う

ことが可能となる。

また、本発明にかかるA Vデータ再生装置は、トランスポートパケットを入力する工程と、入力したトランスポートパケットを復号して出力する工程と、トランスポートパケットに含まれるPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）、PMT（プログラム・マップ・テーブル）、及びPCR（プログラム・クロック・リファレンス）を抽出して復号して出力する工程の初期化を実施する工程を有し、復号して出力する工程において、初期化を実施する工程における処理が完了するまで入力したトランスポートパケットを記憶しておき、初期化を実施する工程における処理が完了した後で、記憶されたPCRを含むトランスポートパケット以降のトランスポートパケットから復号処理を開始することを特徴とする。

かかる構成により、A Vデータ再生装置に入力してきたトランスポートストリームの先頭フレームから確実にリアルタイム再生を行うことが可能となる。

次に上記目的を達成するために本発明にかかるデータ構造体は、MPEGトランスポートパケットが映像データを含み、MPEGトランスポートパケットを含む単位パケットが連続するデータ構造体であって、映像データ内のシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットがPCR（プログラム・クロック・リファレンス）を含み、シーケンスヘッダを含むトランスポートパケットの前の所定の位置にPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケット及びPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットを所定の間隔で含むことを特徴とする。

また、本発明にかかるデータ構造体は、映像データ及び音声データを含むMPEGトランスポートパケットに対する管理情報を含むデータ構

造体であって、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含むトランスポート  
トケットに対して最も近い過去に入力したPCRを含むトランスポート  
トケットに対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPMT  
(プログラム・マップ・テーブル)を含むトランスポートトケットに対  
5 してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPAT (プログラム・  
アソシエーション・テーブル)を含むトランスポートトケットの位置情  
報を含むことを特徴とする。

また、本発明にかかるデータ構造体は、入力した映像データ及び／又  
は音声データを含むMP EG トランスポートトケットに対する管理情報  
10 を含むデータ構造体であって、管理情報が、所定の時間内に入力したト  
ランスポートトケットの位置情報を含むことを特徴とする。

また、本発明にかかるデータ構造体は、MP EG トランスポートパケ  
ットが音声データを含み、MP EG トランスポートトケットを含む単位  
パケットが連続するデータ構造体であって、所定数の音声フレームを含  
15 むトランスポートトケットの前の所定の位置にPAT (プログラム・ア  
ソシエーション・テーブル)を含むトランスポートトケット及びPMT  
(プログラム・マップ・テーブル)を含むトランスポートトケットを含  
み、所定数の音声フレームを含むトランスポートトケットの先頭以前の  
所定の位置にPCR (プログラム・クロック・リファレンス)を含むこ  
20 とを特徴とする。

また、本発明にかかるデータ構造体は、N個の映像を並列に含むMP  
EG トランスポートトケットに対する管理情報を含むデータ構造体であ  
って、管理情報が、N個の映像に含まれるシーケンスヘッダが格納され  
たトランスポートトケットの位置情報を含むことを特徴とする。

25 また、本発明にかかるディスクやメモ리카ード等に代表される記録媒  
体は、上述したようなAVデータ記録装置又は方法によって記録された

ことを特徴とする。かかる構成による記録媒体についても同様の効果が期待できる。

#### 図面の簡単な説明

第 1 図は、本発明の実施の形態 1 及び従来の A V データ記録再生装置  
5 のブロック構成図である。

第 2 図は、本発明の実施の形態 1 にかかる A V データ記録再生装置における記録ファイルのデータ構造図である。

第 3 図は、本発明の実施の形態 2 にかかる A V データ記録再生装置のブロック構成図である。

10 第 4 図は、本発明の実施の形態 2 にかかる A V データ記録再生装置における記録ファイルのデータ構造図である。

第 5 図は、本発明の実施の形態 2 にかかる A V データ記録再生装置における管理ファイルのデータ構造図である。

第 6 図は、本発明の実施の形態 2 にかかる連続する S O B U グループ  
15 ごとの管理データのデータ構造図である。

第 7 図は、本発明の実施の形態 2 にかかる A V データ記録再生装置における別の管理ファイルのデータ構造図である。

第 8 図は、本発明の実施の形態 3 にかかる A V データ記録再生装置における音声ファイルのデータ構造図である。

20 第 9 図は、本発明の実施の形態 4 にかかる A V データ再生装置のブロック構成図である。

第 1 0 図は、本発明の実施の形態 5 にかかる A V データ記録再生装置の管理ファイルのデータ構造図である。

第 1 1 図は、従来の A V データ記録再生装置における記録ファイルの  
25 データ構造図である。

第 1 2 図は、トランスポートパケットのデータ構造図である。



第13図は、従来のAVデータ記録再生装置における記録ファイルのファイル管理状態を示すデータ構造図である。

第14図は、従来のAVデータ記録再生装置におけるVOBU及びトランスポートパケットと、ビデオ・エレメンタリ・ストリーム及びオーディオ・エレメンタリ・ストリームとの関係を示す図である。

発明を実施するための最良の形態

(実施の形態1)

以下、本発明の実施の形態1にかかるAVデータ記録再生装置について、図面を参照しながら説明する。本発明の実施の形態1にかかるAV  
10 データ記録再生装置の構成は、従来のAVデータ記録再生装置の構成図である第1図と同様の構成となっている。従来例と異なっているのは、システムエンコード部104がPAT\_TSP、PMT\_TSP、及びPCRを挿入するタイミングである。

第2図は本発明の実施の形態1にかかるAVデータ記録再生装置における記録ファイルの記録形態を示している。記録ファイルは、PAT\_TSP及びPMT\_TSPの記録場所を除いて、従来と同様のVOBUから構成されるものとする。

第2図において、各VOBUの先頭には必ずPAT\_TSP及びPMT\_TSPが配置されている。さらに、次のトランスポートパケットにはPCRを有するV\_TSPが配置されている。また、VOBU内においては、日本のBSデジタル放送の規格及び欧州のデジタル放送(DVB)の規格に従って100msec以内の頻度で記録するように、PAT\_TSP及びPMT\_TSPが挿入されている。具体的には、例えば  
20 2～3フレームに一度の頻度でPAT\_TSP及びPMT\_TSPを記録する。さらに、VOBU内においては、PCRもMPEG2規格(ISO/IEC 13818-1)の規定にしたがって100msec以

内の時間間隔で記録することになる。

以上の構成によって、ユーザが設定可能な再生開始点をVOBUの先頭とした場合においては、どのVOBUの先頭が指定されたとしても、必ず先頭にはPAT\_\_TSP、及びPMT\_\_TSPが含まれていること  
5 になることから、以降の全トランスポート packets について、システムデコード部114が容易に映像データと音声データとを識別することができ、容易に映像伸長部111と音声伸長部113へ振り分けて再生表示することが可能となる。これにより、指定された全てのフレームが再生開始時、及びシーン切り替え時に指定されたフレームが欠落すること  
10 なく表示可能になる。さらに、PCRが映像に付加されるDTS及びPTSよりも先に到着するので、MPEGデコーダはDTS又はPTSを活用（参照）した再生表示を実施することが可能となる。

また、1394インタフェース部140を介してトランスポートストリームを外部機器へ出力する場合において、ユーザがどのVOBUの先  
15 頭を再生開始点に指定したとしても、PAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPを先頭パケットとしたトランスポートストリームを容易に出力することが可能となる。

さらに、本実施の形態1において、ファイルはUDFファイルシステムで管理しているものとして説明しているが、FATやその他の独自フ  
20 ァイルシステムで管理されている場合であっても同様の効果が期待できる。

なお、本実施の形態1において、VOBU内のPAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPの記録頻度は少なくとも100msecごとに1回であるものとしているが、他の規格に合わせて、異なる頻度でPAT\_\_TSP  
25 及びPMT\_\_TSPを配置するように挿入しても良い。

また、本実施の形態1において、PCRはVOBU内の先頭のV\_\_T

S Pに含まれるものとしているが、P C Rのみからなるトランスポート  
パッケージがV O B U内の最初のV \_\_ T S PとP M T \_\_ T S Pの間に記録  
されても良い。このトランスポートパッケージのP I DはV \_\_ T S PのP  
I Dと同じでも良いし、異なっても良い。

5 (実施の形態 2)

以下、本発明の実施の形態 2 にかかる A V データ記録再生装置につい  
て、図面を参照しながら説明する。第 3 図に、本発明の実施の形態 2 に  
かかる A V データ記録再生装置のブロック構成図を示す。実施の形態 1  
では、第 1 図に示すように記録再生装置内部でトランスポートストリー  
10 ムを生成して記録し、また記録再生装置内部で再生し、同時に外部へト  
ランスポートストリームを出力していたが、本実施の形態 2 においては  
、外部から入力したトランスポートストリームを記録し、その後外部へ  
トランスポートストリームを出力するという点において実施の形態 1 と  
相違する。

15 第 3 図において、まず記録時には、1 3 9 4 インタフェース部 3 0 1  
からトランスポートストリームを入力し、記録部 3 0 3 及びピックアップ  
3 1 2 を介して相変化光ディスク 3 1 1 に対して書き込みを行う。こ  
の時、記録制御部 3 0 7 は、同時に連続データ領域検出部 3 0 6 を起動  
して、記録するために必要な空いた連続データ領域を検出することにな  
20 る。論理ブロック管理部 3 1 0 は、記録制御部 3 0 7 から記録時に使用  
された論理ブロック番号の通知を受けて使用状況を管理する。

また、管理情報生成部 3 0 2 は、入力されたトランスポートストリー  
ムから、シーケンスヘッダ及びその直前の P E S ヘッダを含む V \_\_ T S  
P、P A T を含むトランスポートパッケージ P A T \_\_ T S P、及び P M T  
25 を含むトランスポートパッケージ P M T \_\_ T S P を検出し、隣り合ったシ  
ーケンスヘッダを含む V \_\_ T S P 及び P E S ヘッダ間のデータサイズ、

及び再生時の時間長を管理情報として生成する。再生時の時間長は映像フレーム数を単位として生成する。また、シーケンスヘッダ直後の I ピクチャのデータサイズについても管理情報として生成する。

さらに、あるシーケンスヘッダ及び P E S ヘッダを含む V \_ T S P から過去に遡って最も近い過去に入力した P M T を含むトランスポートパケットに対して、さらに過去に遡って最も近い過去に入力した P A T を含むトランスポートパケットと、シーケンスヘッダ及び P E S ヘッダを含むトランスポートパケットとの間のデータサイズについても、トランスポートパケット数の単位で管理情報として生成する。

10 記録制御部 3 0 7 は、入力したトランスポートパケットについて、記録部 3 0 3 を起動して相変化光ディスク上に管理情報の書き込みを行い、管理ファイルとして生成する。

一方、再生時には、まず再生制御部 3 0 8 が、相変化光ディスク 3 1 1 に格納された管理ファイルをピックアップ 3 1 2 及び再生部 3 0 5 を介して読み出すことになる。そして、指定された再生開始時刻に基づいて管理ファイルを参照することによって、対応する S O B U の記録位置と、対応する P A T \_ T S P の位置を割り出し、その P A T \_ T S P のデータ、その位置以降に含まれる最初の P M T \_ T S P のデータ、及び対応する S O B U 以降のデータをピックアップ 3 1 2 及び再生部 3 0 5  
20 を介して読み出す。つまり、その P A T \_ T S P と対応する S O B U 先頭の間に記録されているトランスポートパケットのうち、P A T \_ T S P 及び P M T \_ T S P 以外のトランスポートパケットは出力しない。

また、読み出されたデータは、出力タイミング生成部 3 0 4 及び 1 3 9 4 インタフェース部 3 0 1 を介して出力される。出力タイミング生成部 3 0 4 では、読み出されたデータに対して M P E G 2 システム規格 ( I S O / I E C 1 3 8 1 8 - 1 ) で規定されるトランスポートストリ  
25

ームターゲットデコーダ (T \_ S T D) のバッファシミュレーションを  
実施することによって適切な出力タイミングを算出し、この算出された  
出力タイミングに従って、1 3 9 4 インタフェース部 3 0 1 へ読み出さ  
れたデータを渡す。そして1 3 9 4 インタフェース部 3 0 1 は、そのタ  
5 イミングを保持しながらトランスポート packets を出力することになる  
。

第 4 図は、本発明の実施の形態 2 にかかる A V データ記録再生装置に  
おける記録ファイルのデータ構造図である。第 4 図に示すように、記録  
ファイルは M P E G S e q u e n c e O b j e c t U n i t ( 以  
10 下、「S O B U」という。) で構成されている。

S O B U は、原則として映像のシーケンスヘッダ及びその直前の P E  
S ヘッダを含む V \_ T S P から、次のシーケンスヘッダ及びその直前の  
P E S ヘッダを含む V \_ T S P の 1 個前までを含んでいる。ただし、先  
頭の S O B U は、例外的に先頭に P A T \_ T S P を含んでいる。これは  
15 、本実施の形態 2 において、P A T \_ T S P から記録を開始するからで  
ある。また、かかる構成とすることにより、最初のシーケンスヘッダを  
含む V \_ T S P と P A T \_ T S P の間に半端なデータを含むことになる  
。また、各 S O B U は複数の G O P を含むものであっても良い。

また第 4 図では、最初の S O B U 内における最後の P M T \_ T S P の  
20 直前の P A T \_ T S P の位置は、当該 S O B U の末尾から M 個目である  
ものとする。また、2 個目の S O B U は先頭にシーケンスヘッダ及びそ  
の直前の P E S ヘッダを含む V \_ T S P を含み、さらにこの S O B U 内  
における最後の P M T \_ T S P の直前の P A T \_ T S P の位置が、当該  
S O B U の末尾から N 個目であるものとする。

25 ただし、シーケンスヘッダ及びその直前の P E S ヘッダを含む V \_ T  
S P は、必ずしもそのデータ領域 ( 以下、「ペイロード」という。) の

先頭から P E S ヘッド及びシーケンスヘッドを含んでいる必要はない。  
外部から入力するトランスポートストリームのシーケンスヘッドの開始  
位置は指定できないからである。

5 極端な場合、例えばシーケンスヘッドが、2 個の V \_ T S P にまたが  
って配置される場合も考えられる。この場合、シーケンスヘッドの先頭  
に配置される 4 バイトのシーケンスヘッドコード ( 0 x 0 0 0 0 0 1 B  
3 ) のうち、第 1 バイト目 ( 0 x 0 0 ) を含む V \_ T S P が S O B U 内  
の最初の V \_ T S P であるものとする。

第 5 図は、本発明の実施の形態 2 にかかる A V データ記録再生装置に  
10 おける管理ファイルのデータ構造図である。第 5 図に示すように、管理  
ファイルは、T M A P \_ G I テーブル、複数の T M \_ E N T テーブル (   
T M \_ E N T s ) 、及び複数の S O B U \_ E N T テーブル ( S O B U \_   
E N T s ) から構成されている。この 3 つのテーブルは、ファイルの先  
頭を時刻 0 ( ゼロ ) とし、その時刻から経過した時間と、その時刻に対  
15 応するトランスポートパケットの記録位置との関係を保持する。

まず、T M A P \_ G I テーブルにおいては、T M A P タイプに管理フ  
ァイルのデータ構造の識別子としてタイプ番号を格納している。また、  
タイムエントリ数として T M \_ E N T テーブルの数を格納し、S O B U  
エントリ数には S O B U \_ E N T テーブルの数を格納している。さらに  
20 、先頭のタイムオフセットには、最初の T M \_ E N T テーブルが参照す  
る時刻がファイル内の最初の映像フレームからどの程度経過した時刻で  
あるかを、フィールド数で表した値として格納している。

次に、S O B U \_ E N T テーブルにおいては、S O B U の先頭におけ  
る I ピクチャのデータサイズをトランスポートパケット数 I - p i c t u r e d  
25 a t a s i z e フィールドへ設定する。また、S O B U の表示に要する時間  
長についてもフィールド数 S O B U 時間長フィールドへ設定している。

また、SOBUのデータサイズをSOBUデータサイズフィールドへトランスポートパケット数の単位で設定する。以上の構成は、特許JP 3028517号における図11に示すタイムマップ情報に似たものである。

- 5      さらに、1個前のSOBUにおける最後のPMT\_TSPに対して最も近い過去に入力したPAT\_TSPの位置を、1個前のSOBU末尾からのパケット数としてPAT/PMTポインタフィールドへ設定している。さらに、連続する2個のSOBUを構成するトランスポートパケットの内、各SOBUの先頭のパケットの到着時間差を27MHzのクロックによるカウンタ値を使ってTSP到着時間フィールドに設定して
- 10      いる。

- さらに、TSP到着時間フィールドの時間長情報と、SOBU時間長フィールドの時間長情報を、単位をそろえた後で比較し、1.5倍以上異なる場合は、時間長有効フラグフィールドを‘0’とし、1.5倍以下の場合は時間長有効フラグフィールドを‘1’とする。この時間長有効フラグが‘1’の場合には、SOBU時間長フィールドの値が有効であり、‘0’の場合にはTSP到着時間フィールドの方が有効であることを示している。
- 15

- また、TM\_ENTテーブルは、10秒間隔の参照時刻に対する記録ファイル上での位置を格納している。すなわち、SOBU Entry Indexには、10秒間隔の参照時刻に対応するSOBUに対して、それに対応するSOBU\_ENTテーブルの通し番号を格納している。また、Time Differenceには、10秒間隔の参照時刻に対応する映像フレームと、SOBU Entry Indexが参照
- 20      するSOBUの先頭フレームとの時間差について、フィールド数を単位として表現した値を格納している。
- 25

さらに、PAT/PMTポインタについては、第4図に示す記録ファイルの場合を考えると、1個目、2個目、及び3個目のSOBUに対応するSOBU\_\_ENTテーブルのPAT/PMTポインタは、それぞれ‘0（ゼロ）’、‘M’、‘N’を格納することになる。

- 5 記録時には、1394インタフェース部301を介して入力したトランスポートストリームを記録して記録ファイルを作成し、同時に管理ファイルも作成される。ただし、TM\_\_ENT及びTMAP\_\_GIは、記録ファイル及びSOBU\_\_ENTの作成が完了した後に、SOBU\_\_ENTを参照して作成することになる。この時、時間長有効フラグ
- 10 が‘0’の場合は、TSP到着時間フィールドを参照して該当するSOBUの時間長とみなして、TM\_\_ENTを生成する。

そして、再生時には、管理ファイルを事前に読み出しておき、TM\_\_ENTテーブルを参照して、指定された再生開始時刻に対応するSOBUのSOBU\_\_ENTテーブルを検出する。さらに、当該SOBU

15 U\_\_ENT内におけるPAT/PMTポインタを参照して、その位置からディスク上のトランスポートパケットを読み出し、必要なトランスポートパケットを外部へ出力する。

以上の構成により、指定された再生開始時刻に対応するSOBU以降のデータについて、適切なPAT及びPMTを含んだ形で出力することが可能となる。より具体的には、再生開始時刻として特定のSOBUの先頭を指定した場合においても、SOBU以降の再生に必要なデータが欠けることなく、全て出力することが可能となる。これによって、1394インタフェース部301に接続されたDTVやSTB等の外部機器

20 に対して、SOBUの単位による時刻指定であれば、どのタイミングであつても再生可能な形態で出力することが可能となる。

また、SOBUの先頭を検出する際には、シーケンスヘッダコードの



第4バイト目を含むV\_\_TSPを検出し、そのV\_\_TSPをSOBUの先頭として管理データを作成しても良い。この方法は、シーケンスヘッダコードの直前のPESヘッダの第1バイトを含むV\_\_TSPを検出し、そのV\_\_TSPをSOBUの先頭として管理データを作成する場合と比較して、検出処理を簡略化できる。なぜなら、シーケンスヘッダ又は直前のPESヘッダが2個のV\_\_TSPにまたがっていた場合、SOBUの先頭位置をシーケンスヘッダの第4バイト目を検出してから、1つ前のV\_\_TSPまで遡って算出する必要があるからである。この時、この2個のV\_\_TSP間に挟まれるトランスポートパケットの個数は一定ではないことから、挟まれる個数を毎回算出する必要がある。これに較べて、本実施の形態2の方法では挟まれる個数は0（ゼロ）であり、毎回算出する必要が無いからである。

第4バイト目を含むV\_\_TSPをSOBU内の最初のV\_\_TSPとする場合、再生時において、PAT/PMTポインタの指すPAT\_\_TSPとSOBU先頭との間に存在するシーケンスヘッダの第1バイト目を含むV\_\_TSPも送出する必要がある。または、シーケンスヘッダの第1バイト目を含むV\_\_TSPを新規に生成して挿入する必要がある。もしくは、受信側のMPEGデコーダにおいてペイロード先頭が0xB3であった場合は、シーケンススタートコードと見なして再生を行う必要がある。

また、TSP到着時間及び時間長有効フラグを設けたことにより、入力するトランスポートストリームが特殊再生用のものだった場合においても、SOBUによる1秒弱の単位の時間管理及びTM\_\_ENTによる10秒間隔の時間管理も適切な時間間隔を保持可能になる。特殊再生用のトランスポートストリームとしては、例えば1秒間に5フレーム程度の表示速度を有するスロー再生用のトランスポートストリームを記録す

る場合がある。この時のトランスポートストリームは I B B P B B ...  
のように各ピクチャを順に入力することになる。この場合、S O B U 内  
のフレーム数は '5' となり、すなわち約 1 / 3 秒分であるが、T S P  
到着時間は 1 秒となる。このような入力に対しても表示時間長に等しい  
5 1 秒分の S O B U として管理可能となる。

一方、1 秒間に 5 フレーム程度の表示速度を有する高速再生用のトラ  
ンスポートストリームを有する場合もある。この時のトランスポートス  
トリームは I I I I ... のように I ピクチャを順に入力することになる  
。このような入力に対しても表示時間に等しい 1 秒分の S O B U として  
10 管理可能となる。

なお、本実施の形態 2 では、記録時において S O B U の先頭から過去  
に遡って最も近い過去に入力した P A T / P M T へのポイントを S O B  
U \_ E N T に登録しているが、S O B U の直後の P A T 及び P M T への  
ポイントを格納するものであっても良い。ただし、この場合には、再生  
15 時において、当該 P A T / P M T ポインタが格納されている参照する P  
A T 及び P M T の連続性カウンタ ( C o n t i n u i t y C o u n t  
e r ) を '1' だけ減算したトランスポートパケットを S O B U に先だ  
って出力する必要がある。さらに、P A T 又は P M T を含むトランスポ  
ートパケットにプログラムクロックリファレンス ( P C R ) フィールド  
20 が含まれている場合には、この値についても P C R 値を先立って出力す  
る時間分だけ減らすように修正する必要がある。また、P C R が含まれ  
ている場合には、別途 P C R を含むトランスポートパケットを送出する  
のが望ましい。

また、本実施の形態 2 においては、再生時に S O B U \_ E N T テーブ  
25 ルの P A T / P M T ポインタを参照するものとしているが、参照しなく  
ても S O B U の直前のデータを所定量だけ読み出し、S O B U 先頭から

過去に入力したトランスポートパケットの方向へ検索し、最初に検出したPMT\_\_TSPと、続けて検出したPAT\_\_TSPとをSOBUの前に出力するものであっても良い。特にデジタル放送規格に準拠したトランスポートストリームの場合には、PAT\_\_TSPとPMT\_\_TSPの  
5 挿入頻度が規定されている場合も考えられることから、この挿入頻度に対応した所定量を読み出せば、必ずPAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPが含まれることになる。例えば、15Mbpsのストリーム内に100ms以下  
の頻度で存在する場合には、所定量は187.5キロバイトとなる。ただし、この場合には、パケットの検索処理時間が余計に必要  
10 になることは言うまでもない。

さらに、本実施の形態2においては、再生時にSOBU\_\_ENTテーブルのPAT/PMTポインタを参照するものとしているが、参照することなくSOBUの先頭以降のデータを所定量だけ読み出し、そのデータの中から必要なトランスポートパケットを検索することで、SOBU  
15 の先頭に最も近いPAT\_\_TSPと、SOBUの先頭に最も近いPMT\_\_TSPと、SOBUの先頭に最も近いPCRを含むトランスポートパケットを抽出し、内部のデータを変更してSOBUの前に出力するものであっても良い。特にデジタル放送規格に準拠したトランスポートストリームの場合には、PAT\_\_TSPとPMT\_\_TSPの挿入頻度が規定  
20 されている場合も考えられることから、この挿入頻度に対応した所定量を読み出せば、必ずPAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPが含まれることになる。例えば、15Mbpsのストリーム内に100msの頻度で存在する場合には、所定量は187.5キロバイトとなる。ただし、この場合には、パケットの検索処理時間が余計に必要になることは言う  
25 までもない。

なお、この場合も同様に、PAT\_\_TSP、PMT\_\_TSP、及びP

CRが含まれるトランスポートパケットの連続性カウンタ (C o n t i  
n u i t y   C o u n t e r) を ‘1’ だけ減算したトランスポートパ  
ケットをSOBUに先だって出力する必要がある。さらに、PAT又は  
PMTを含むトランスポートパケットにプログラムクロックリファレン  
5 ス (PCR) フィールドが含まれている場合には、この値についてもP  
CR値を先立って出力する時間分だけ減らすように修正する必要がある。  
また、PCRが含まれるトランスポートパケットについては、アダプ  
テーションフィールドを広げてペイロード部分を無くすように更新する  
必要も生じる。

10     なお、本実施の形態2の管理ファイルと同様の管理ファイルを実施の  
形態1に示す方法で記録しても良い。また、本実施の形態2では、管理  
ファイルを別途記録するものとしているが、トランスポートパケット内  
に格納する形、例えば記録ファイルの末尾部分にトランスポートパケッ  
15  つても良い。

また、本実施の形態2では、PAT/PMTポインタは、SOBUか  
ら過去に遡って最も近い過去に入力したPMT\_\_TSPに対してさらに  
過去に遡って最も近い過去に入力したPAT\_\_TSPと、そのSOBU  
先頭との間のデータサイズであるものとしているが、SOBUから過去  
20  に遡って最も近い過去に入力したPCRを含むトランスポートパケット  
に対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPMT\_\_TSPに  
対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPAT\_\_TSPと、  
そのSOBUの間のデータサイズであるものとすれば一層良い。

この場合、再生時にはSOBUの送出の前に、SOBU先頭とPAT  
25  /PMTポインタに挟まれたPAT\_\_TSP、PMT\_\_TSP、及びP  
CRを含むトランスポートパケットのみを出力する。これにより、トラ

ンサポートストリームの受信側のMPEGデコーダは、SOBUの最初のV\_\_TSP内のPESヘッダに記載されたPTSやDTSを参照する前にPCRの値を入手することになるので、PTSやDTSを参照した動作を実施することができる。

- 5      一方、実施の形態3ではPTSやDTSを参照した動作を実施することができず、映像データ中のv b v\_\_d e l a yフィールドを参照し、SOBUの最初のV\_\_TSPの入力時刻からの経過時間がv b v\_\_d e l a yフィールドの値と一致したときに映像の復号を開始する等のタイミング制御が必要となる。
- 10      さらに、本実施の形態2では、PAT/PMTポインタは、SOBU先頭とSOBUから過去に遡って最も近い過去に入力したPMT\_\_TSPに対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPAT\_\_TSPとの間のデータサイズであるものとしているが、SOBU先頭よりも所定数だけ前に離れた位置（例えば、トランスポートパケット100個分
- 15      だけ前、等）を指示するものであっても良い。この場合には、PAT/PMT/PCRの挿入頻度から、それらが必ず含まれる個数であることが望ましい。

また、本実施の形態2では、PAT/PMTポインタは、SOBU先頭とSOBUから過去に遡って最も近い過去に入力したPMT\_\_TSP

20      に対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPAT\_\_TSPとの間のデータサイズであるものとしているが、SOBU先頭よりも所定時間だけ過去に入力したトランスポートパケットの位置（例えば、300 m s e c 前）を指示するものであっても良い。

例えば300 m s e c 前であれば、日本のデジタル放送の場合及び欧

25      州のデジタル放送（DVB）の場合は、この間にPAT\_\_TSP、それに続くPMT\_\_TSP、及びそれに続くPCRがこの順序で含まれる可

能性が高い。これは、PAT\_TSP及びPMT\_TSPの送出頻度が100ms以上という運用規定があるからである。

また、所定時間だけ過去に入力したトランスポートパケットの位置をPAT/PMTポインタで指さなくても、再生時にその位置を検索すれば良い。ただし、この場合、トランスポートパケット単位で到着タイミングを別途記録していることが前提となる。

なお、本実施の形態2では、時間長有効フラグを‘0’とする条件を、SOBU時間長を1.5倍した値よりもTSP到着時間が大きい場合として説明しているが、SOBUがPESヘッダ内に特殊再生時に使用されるトリックモードフラグを有する場合には常に‘0’としても良い。

また、本実施の形態2においては、PAT/PMTポインタを管理情報として記録しているが、実際のPATを含むトランスポートパケット及びPMTを含むトランスポートパケットを、MPEG規格の連続性を確保したSOBUのグループの単位ごとに、SOBUのグループごとの管理情報とは別に記録しても良い。また、記録ファイルごとに記録しても良い。ただし、記録ファイルごとに記録する場合には、DITを含むトランスポートパケットを検出した場合、検出前と検出後で記録ファイルを分断する必要がある。また、トランスポートパケットヘッダを含まないでPAT及びPMTのテーブルのみであっても良い。

また、記録ファイルごとに記録する場合、PATを含むトランスポートパケット及びPMTを含むトランスポートパケットをそのまま記録しないで、第6図に示すように、内部に含まれる各エレメンタリストリームの種別とPIDの対応、PMTのPID、PCRが格納されるPID等を要約して記録しても良い。

さらに、SOBU内で最初のPAT、及びPMTを含むトランスポート

トパケットの連続性カウンタの値を検出して含んでも良い。第7図において、このようなSOBUごとの管理情報の例を示す。

また、通常は複数のSOBUに渡ってPAT及びPMTは変化しないことから、SOBUのグループごとの管理情報として別途記録したPAT\_\_TSP及びPMT\_\_TSPを識別するための識別子を各SOBUの  
5 グループごとに記録しても良い。

そして、ユーザに指定された特定のSOBUを再生開始点とする場合には、そのSOBUに先だって、別に記録されたPAT及びPMTをトランスポートパケットとして構成して送出する必要がある。さらに、PCRを含むトランスポートパケットについても、PMTとSOBUの間の  
10 タイミングで送出する必要がある。

この時、PATを含むトランスポートパケット及びPMTを含むトランスポートパケットの連続性カウンタの値としては、管理情報として記録されたSOBU内で最初のPAT及びPMTの連続性カウンタの値から  
15 ら‘1’だけ減算した値を使用すれば良い。このように、管理情報としてSOBU内で最初のPAT及びPMTの連続性カウンタの値を保持することにより、容易にPAT及びPMTを作成することができる。

なお、本発明の実施の形態2では、シーケンス・スタート・コードの第1バイトを含むV\_\_TSPを2個目以降のSOBUの先頭に配置する  
20 ものとしているが、SOBUの先頭に別のトランスポートパケットが記録されても良い。これはSOBU内の最初のV\_\_TSPがシーケンス・スタート・コードの第1バイトと含んでいれば良いからである。別のトランスポートパケットを記録する例としては、トランスポートパケットごとの到着タイミング情報を所定の数だけまとめて格納する場合である  
25 。

また、本実施の形態2では、AVデータ記録再生装置内でMPEGデ

コードを持たない構成としているが、A Vデータ記録再生装置内にM P E Gデコードを有する構成であつても良い。こうすることで、A Vデータ記録再生装置内部で再生表示が可能となる。

さらに、本実施の形態2では、シーケンスヘッダを含むV\_\_T S Pが  
5 P E Sヘッダを含むものとしているが、必ずしもP E Sヘッダを含まなくても良い。M P E G規格上は、映像のP E Sヘッダがストリームの先頭に1回しかない場合も許されているからである。

また、本実施の形態2では、S O B U先頭のV\_\_T S Pの前に送出するP A T\_\_T S P、P M T\_\_T S P、及びP C Rを含むトランスポート  
10 パケットの送出タイミングについては触れていないが、受信側の処理速度を考慮して時間的な間隔をあけて送出するようにしても良い。

さらに、本実施の形態2では、1個目のS O B UはP A T\_\_T S Pから記録するものとしているが、他の種類のトランスポートパケットから記録を開始しても良い。例えば、最初のP A T\_\_T S Pが到着するまで  
15 のトランスポートパケットをすべて記録しても良い。

また、本実施の形態2では、S O B UごとにS O B U時間長とT S P到着時間を記録するものとしているが、T S P到着時間のみを記録するものであつても良い。この場合、シーケンスヘッダの検出処理やフィールド数のカウント処理が不要になることから、管理情報生成部を簡略化  
20 することが可能となる。

### (実施の形態3)

以下、本発明の実施の形態3にかかるA Vデータ記録再生装置について、図面を参照しながら説明する。上述した実施の形態1及び実施の形態2が映像ファイルを記録・再生する場合についてのものであったのに  
25 対し、本実施の形態3は、音声ファイルを記録・再生する場合について説明する。



第8図は、本発明の実施の形態3にかかるAVデータ記録再生装置における音声ファイルのデータ構造図である。第8図に示すように、音声ファイルは、データサイズが固定長（例えば約2キロバイト）のヘッダ、及びオーディオオブジェクト（以下、「AOB」という。）から構成され、AOBは複数のオーディオオブジェクトユニット（以下、「AOBU」という。）から構成されている。

ヘッダには、音声ファイルに関する管理情報が格納されている。各AOBUには、所定数（例えば4個）の音声フレームが含まれており、先頭にはPAT\_TSP及びPMT\_TSPが含まれている。また、1音声フレームは、所定数（例えば3個）のトランスポートパケットA\_TSPにより構成されている。

第8図においては、各音声フレームが固定ビットレートとなることを前提としている。また、音声ファイルを記録再生するAVデータ記録再生装置の構成としては実施の形態1と同様に第1図で示されることから、詳細な説明は省略する。

音声ファイルを第8図に示すようなデータ構造にすることにより、途中のAOBUから再生を開始する場合において、確実にPAT\_TSP及びPMT\_TSPを含むようになる。したがって、音声ファイルのどのAOBUから再生する場合であっても、確実に先頭音声フレームから再生することが可能となる。

また、本実施の形態3に示すように、AOBUに含まれる音声フレームを4個にすれば、PAT/PMTの挿入タイミングを100msecごと以内にする事ができる。こうすることで、日本のBSデジタル放送に対応した1394の伝送規格が定める100msec以内に収めることができる。具体的には、ISO/IEC 13818-7 Advanced Audio Coding圧縮を48KHzサンプリング

、 1 0 2 4 サンプルで使用する場合はこれに該当する。

また、第 8 図に示すように、PAT\_\_TSP 及び PMT\_\_TSP の挿入タイミング、AOBU を構成する音声フレーム数、及び音声フレームを構成するトランスポートパケット数を固定化することにより、時刻指定により途中の AOBU から再生する場合に、時刻と対応する AOBU の位置が単純な計算のみで求まることから、実施の形態 2 のように TM\_\_ENT テーブルや SOBU\_\_ENT テーブルに相当するテーブルを記録しておく必要が無くなる。必要な情報としては、1 音声フレームのフレーム時間、1 音声フレームを構成するトランスポートパケット数、及び 1 AOBU を構成する音声フレーム数で十分である。これらの情報を、例えば音声ファイルのヘッダ部分に記録しておけば良い。

なお、本実施の形態 3 では、PAT\_\_TSP 及び PMT\_\_TSP の挿入タイミング、AOBU を構成する音声フレーム数、及び音声フレームを構成するトランスポートパケット数を固定化するものとして説明しているが、AOBU を構成する音声フレーム数、及び音声フレームを構成するトランスポートパケット数を所定数以下でもよいものとしても良い。ただし、この場合には実施の形態 2 のような TM\_\_ENT テーブルや SOBU\_\_ENT テーブルに相当するテーブルをファイルフッタもしくは別の管理ファイルとして記録した方が良い。

また、本発明の実施の形態 1 及び 3 では、PAT\_\_TSP 及び PMT\_\_TSP を VOB 又は AOBU の先頭に配置するものとしているが、PAT\_\_TSP 及び PMT\_\_TSP の直前に別のトランスポートパケットが記録され、続いて PAT\_\_TSP、PMT\_\_TSP が記録されても良い。これは VOB 又は AOBU 内の最初の V\_\_TSP 又は A\_\_TSP よりも前に、PAT\_\_TSP 及び PMT\_\_TSP が記録されていれば良いからである。別のトランスポートパケットを記録する例としては

、トランスポートパケットごとの到着タイミング情報を所定の数だけまとめて格納する場合である。

なお、A O B U内の最初のA \_ T S P内にはトランスポートパケットヘッダ内にP C Rが含まれることが望ましい。A \_ T S P内の音声データよりも先にP A T \_ T S P、P M T \_ T S P、及びP C Rを送出できるからである。

(実施の形態4)

第1図の1394インタフェース部と1394ケーブルを介して接続されるAVデータ再生装置の構成を第9図に示す。1394インタフェース部401から入力したトランスポートストリームは、P A T / P M T / P C R解析部402によりP A T、P M T、及びP C Rフィールドが抽出され、解析後に復号に必要な映像及び音声のP I DとP C Rを再生部403へ渡す。再生部403は映像のP I D、音声のP I D、及びP C Rを受け取るとすぐに入力したトランスポートストリームの蓄積を開始し、それを利用してトランスポートストリームの復号処理を開始し、表示部404へ復号した映像信号及び音声信号を渡す。復号処理の開始時においては、P C Rを含むトランスポートパケットが蓄積及び復号のきっかけ（トリガ）となる場合は、当該トランスポートパケット自体以降のトランスポートパケットが蓄積及び復号の対象となるものとする。以降、P A T / P M T / P C R解析部402は、P A T / P M T / P C Rを検出するごとに、再生部403へP I DとP C Rを渡すことになる。

以上のような構成により、実施の形態1、2、及び3にかかるAVデータ記録再生装置における1394インタフェース部401が出力するトランスポートストリームを、第9図に示すAVデータ再生装置の1394インタフェース部401へ入力することにより、入力されたトラン

スポーツストリームの先頭より確実に再生可能になる。

また、PAT/PMT/PCRの解析処理のために必要な処理時間は、各種のAVデータ再生装置ごとに異なる。例えば処理時間が0.5秒の機種もあれば、1.0秒の機種もある。そうではあっても、これらの

5 処理時間に依存しないで、本実施の形態1、2、及び3にかかるAVデータ記録再生装置（送出側）のように、統一的なトランスポートストリームを出力すれば、実施の形態4にかかるAVデータ再生装置（受信側）はPAT/PMT/PCRの解析処理が終了次第、トランスポートストリームの再生をすぐに開始できる。このことは、解析処理時間の最大

10 値を見積もることにより、送信側のAVデータ再生装置がPAT/PMT/PCRを含むトランスポートパケットのみを送出し、解析処理時間の最大値の間だけ、トランスポートストリームの出力を停止する方法よりも、映像及び音声出力までの遅延時間を短縮することができる。さらに、特定のシーンを選択して、選択した複数のシーンを連続して再生する

15 場合においても、シーンの切り換え時間を短縮化することもできる。

また、このようなシーンの切り換えが発生するとき、シーンの切換タイミングを事前にAVデータ再生装置に通知しても良い。通知内容としては、例えば前のシーンに使用されたSTC（システムタイムクロック）の値として表現して、次のシーンの最初のフレームが再生されるタイ

20 ミングを通知してもよい。通知方法としては、例えば1394におけるAVCコマンドを使うものであっても良い。また、特別のトランスポートパケットにより通知してもよい。

また、次のシーンのPAT/PMTに関する情報をトランスポートストリームの切り替え点よりも少し前にAVデータ再生装置側へ通知しても

25 良い。通知するために、PAT及びPMTのバージョン番号(version\_number)フィールド及びカレント\_\_ネクスト\_\_識別子(current\_next

\_indicator) フィールドを使用しても良い。

また、シーンの切換点において、送出側がD I T (Discontinuity Information Table)を含むトランスポートパケットを挿入することにより、トランスポートストリーム内における切換タイミングを入力ストリームの監視によって確認できるようにしても良い。

なお、本実施の形態4では、PAT/PMT/PCR解析部402はPAT、PMT、PCRの順に入力する場合を想定しているが、異なる順序で入力した場合であっても、そのPAT、PMT、及びPCRに含まれる映像及び音声のPIDとPCR等の情報を再生部403へ渡しても良い。

このような処理を前提とすることにより、実施の形態3において、シーケンスヘッダを含むトランスポートパケットよりも100msec以内の過去に入力したトランスポートパケットの中からPAT\_TSP、PMT\_TSP、及びPCRを含むトランスポートパケットを抽出して、そのままの順序で送出しても良い。このとき、PAT\_TSP、PMT\_TSP、及びPCRを含むトランスポートパケットの送出順序がどのようなになっていたとしても、受信側でPAT\_TSP、PMT\_TSP、及びPCRを含むトランスポートパケットの順序に直して解釈される。これによって、300msec前に入力したトランスポートストリームの中からこれらのトランスポートパケットを抽出する必要がなくなる。

また、このような処理を前提とすれば、実施の形態1及び2において、PAT\_TSP、PMT\_TSP、及びPCRを含むトランスポートパケットの送出順序及び記録順序はこの順番が守られていなくても良い。また、実施の形態3におけるPAT/PMTポインタは、PAT\_TSP、PMT\_TSP、又はPCRを含むトランスポートパケットのう

ち最も過去に入力されたトランスポートパケットの位置情報を参照すれば良い。その位置からSOBUの先頭までにこの3種類のトランスポートパケットが存在することになるからである。

(実施の形態5)

- 5 第10図は、外部から入力するトランスポートストリームが、ARIB規格のマルチビュー放送の場合における管理情報のデータ構造を示している。マルチビュー放送は、1つのトランスポートストリーム内に最大3つの番組が多重化される。このようなトランスポートストリームの場合、その番組ごとにSOBU\_\_ENTテーブル及びTM\_\_ENTテーブルを作成することになる。
- 10

そして、表示時間が近接している番組1、番組2、及び番組3のそれぞれのSOBU\_\_ENTテーブルを1、2、3、1、2、3、…の様に順番に繰り返し記録する。TM\_\_ENTテーブルも同様に記録する。なお、それぞれのSOBU\_\_ENTテーブル及びTM\_\_ENTテーブルは

15 、実施の形態2と同じデータ構造であるものとする。また、TMAP\_\_GI内に番組の多重数を記録するものとする。

その他の構成は実施の形態2と同様である。

以上の構成により、マルチビュー放送であっても、任意の番組における任意のシーケンスヘッダよりPAT、PMT、及びPCRを含んだ形でトランスポートストリームの送出が可能となる。

20

なお、番組2及び番組3に対応するSOBU\_\_ENTテーブルを、番組1のSOBU\_\_ENTテーブルの後に直列に記録しても良い。また、同様に番組2及び番組3に対応するTM\_\_ENTテーブルを、番組1のTM\_\_ENTテーブルの後に直列に記録しても良い。

- 25 なお、以上説明したいずれの実施の形態においても、記憶媒体は相変化光ディスクであるものとして説明しているが、特にこれに限定するも

のではなく、例えばDVD-RAM、MO、DVD-R、DVD-RW、DVD+RW、CD-R、CD-RW等の光ディスクやハードディスク等のディスク形状を有する記録媒体やメモ리카ードのようなディスク形状を有さない記録媒体であっても良い。また、フラッシュメモリ等の  
5 半導体メモリであっても良い。

同様に、本発明の実施の形態において、読み書きヘッドはピックアップとしているが、MOの場合はピックアップ及び磁気ヘッドとなり、またハードディスクの場合は磁気ヘッドとなる。

なお、本発明の実施の形態において、論理ブロックは32Kバイト、  
10 セクタは2Kバイトとしているが、論理ブロックサイズがセクタサイズの整数倍であれば特に限定されるものではなく、例えば論理ブロックが16Kバイト、セクタが2Kバイトであっても良い。また、論理ブロック、セクタ共に2Kバイトであっても良い。

また、本発明の実施の形態において、映像圧縮符号及び音声圧縮符号  
15 は、それぞれMPEG2映像圧縮符号及びAAC圧縮符号であるものとして説明しているが、MPEG1映像圧縮符号又はMPEG4映像圧縮符号等や、MPEG-Audio圧縮符号、Dolby AC3圧縮符号、またはTwin-VQ圧縮符号等であっても良い。

なお、本発明の実施の形態において、トランスポートストリームは出  
20 カタイミング生成部において送信タイミングが決定されるものとしているが、記録時にシステムエンコード部104が出力するトランスポートパケットの送信タイミングをトランスポートパケットと同時に記録しておき、この送信タイミング情報を1394出力時に利用しても良い。この場合、例えばトランスポートパケットの直前に4バイトの送信タイ  
25 ミング情報を記録し、合計192バイトのパケット形式で記録しておくことにより実現できる。また、複数の送信タイミング情報を送信タイミン

グ情報格納用の専用のトランスポートパケットに格納し、そのトランスポートパケットの直後に対応するトランスポートパケットを記録するようにしてもよい。この場合、パケットのデータサイズは188バイトのままとなる。

- 5      また、本発明の実施の形態において、論理ブロックは32Kバイト、セクタは2Kバイトとしているが、論理ブロックサイズがセクタサイズの整数倍であれば、特に限定されるものではなく、例えば論理ブロックが16Kバイト、セクタは2Kバイトで合っても良い。また、論理ブロック、セクタ共に2Kバイトであっても良い。

10    産業上の利用可能性

以上のように本発明にかかるAVデータ記録再生装置によれば、ファイルの途中を再生開始点とした場合であっても、確実に全フレームを機器内で再生したり、1394インタフェースを介して再生することが可能となる。



## 請求の範囲

1. 映像データを、MPEGトランスポートパケットを含む単位パケットが連続するデータとして記録する映像記録部を有し、
- 5 前記映像データ内のシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットの前の所定の位置にPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケット、及びPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットを所定の間隔で記録することを特徴とするAVデータ記録装置。
- 10 2. 前記所定の位置が、直前の位置である請求項1記載のAVデータ記録装置。
3. 前記所定の間隔が、0.4秒以上1秒以下である請求項1記載のAVデータ記録装置。
4. 前記データの記録位置に関する情報を記録する管理情報記録部をさらに含み、
- 15 前記記録位置が、前記PATの前の第2の所定の位置である請求項1記載のAVデータ記録装置。
5. 前記第2の所定の位置は、前記PATの直前の前記単位パケットの位置である請求項4記載のAVデータ記録装置。
- 20 6. 前記シーケンスヘッダを含むトランスポートパケットが、PCR（プログラム・クロック・リファレンス）を含む請求項1記載のAVデータ記録装置。
7. トランスポートパケット入力部と、
- 前記トランスポートパケットに含まれる情報から管理情報を生成する
- 25 管理情報生成部と、
- 前記トランスポートパケット及び前記管理情報を記録する記録部を有

し、

前記管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含む前記トランスポートパケットの位置情報を含むことを特徴とするAVデータ記録装置。

- 5    8. トランスポートパケット入力部と、

前記トランスポートパケットに関する管理情報を生成する管理情報生成部と、

前記トランスポートパケット及び前記管理情報を記録する記録部を有し、

- 10    前記管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含む前記トランスポートパケットに対して最も近い過去に入力したPCRを含むトランスポートパケットに対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含む前記トランスポートパケットに対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPAT（  
15    プログラム・アソシエーション・テーブル）を含む前記トランスポートパケットの位置情報を含むことを特徴とするAVデータ記録装置。

9. トランスポートパケット入力部と、

前記トランスポートパケットに関する管理情報を生成する管理情報生成部と、

- 20    前記トランスポートパケット及び前記管理情報を記録する記録部を有し、

前記管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含む前記トランスポートパケットの所定の時間前に入力した前記トランスポートパケットの位置情報を含むことを特徴とするAVデータ記録装置。

- 25    10. 前記所定の時間が、300 msecである請求項9記載のAVデータ記録装置。

1 1. 前記所定の時間が、1 0 0 m s e cである請求項 9 記載の A V データ記録装置。

1 2. トランスポート packets 入力部と、

前記トランスポート packets に関する管理情報を生成する管理情報生成部と、

前記トランスポート packets 及び前記管理情報を記録する記録部を有し、

前記管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含む前記トランスポート packets 以降に入力した最初の PMT (プログラム・マップ・テーブル) を含む前記トランスポート packets の位置情報と、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポート packets 以降に入力した最初の PAT (プログラム・アソシエーション・テーブル) を含む前記トランスポート packets の位置情報とを含むことを特徴とする A V データ記録装置。

1 3. 音声データを、MPEG トランスポート packets を含む単位 packets が連続するデータとして記録する音声記録部を有し、

前記音声記録部において、所定数の音声フレームを含むトランスポート packets の直前に PAT (プログラム・アソシエーション・テーブル) を含むトランスポート packets と、PMT (プログラム・マップ・テーブル) を含むトランスポート packets を記録することを特徴とする A V データ記録装置。

1 4. 前記所定数の音声フレームが、1 0 0 m s e c 分以下である請求項 1 3 記載の A V データ記録装置。

1 5. 前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポート packets が PCR (プログラム・クロック・リファレンス) を含む請求項 1 に記載の A V データ記録装置。

16. PAT (プログラム・アソシエーション・テーブル) を含む前記  
トランスポート packets が PCR (プログラム・クロック・リファレン  
ス) を含む請求項 1 又は 13 に記載の AV データ記録装置。
17. PMT (プログラム・マップ・テーブル) を含む前記トランス  
5 ポート packets が PCR (プログラム・クロック・リファレンス) を含む  
請求項 1 又は 13 に記載の AV データ記録装置。
18. 前記シーケンスヘッダの一部がシーケンス・スタート・コードの  
第 1 バイト又は最終バイトである請求項 7 又は 12 に記載の AV データ  
記録装置。
- 10 19. 所定数の音声フレームを含む前記トランスポート packets のうち  
、先頭に位置する前記トランスポート packets が PCR (プログラム・  
クロック・リファレンス) を含む請求項 13 に記載の AV データ記録装  
置。
20. トランスポート packets 入力部と、
- 15 前記トランスポート packets に関する管理情報を生成する管理情報生  
成部と、
- 前記トランスポート packets 及び前記管理情報を記録する記録部を有  
し、
- 前記管理情報が、複数の前記トランスポート packets からなるグルー  
20 プの先頭のトランスポート packets の位置情報と、前記グループの入力  
経過時間情報とを含むことを特徴とする AV データ記録装置。
21. トランスポート packets 入力部と、
- 前記トランスポート packets に関する管理情報を生成する管理情報生  
成部と、
- 25 前記トランスポート packets 及び前記管理情報を記録する記録部を有  
し、

前記管理情報が、複数の前記トランスポートパケットからなるグループの先頭のトランスポートパケットの位置情報と、前記グループ内で共通に含まれるPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）及びPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むことを特徴とするAV  
5 データ記録装置。

22. トランスポートパケット入力部と、

前記トランスポートパケットに関する管理情報を生成する管理情報生成部と、

前記トランスポートパケット及び前記管理情報を記録する記録部を有  
10 し、

前記トランスポートパケットがN個の映像を並列に含み、

前記管理情報が前記N個の映像に含まれるシーケンスヘッダを含む前記トランスポートパケットの位置情報を含むことを特徴とするAVデータ記録装置。

15 23. 前記管理情報が、前記N個の映像に対する前記位置情報を並列に含む請求項22記載のAVデータ記録装置。

24. MPEGトランスポートパケットを含む単位パケットから構成される映像データを再生する映像再生部を有し、

前記映像データはシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットの  
20 前の所定の位置にPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケット及びPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットを含み、

前記映像データに含まれる前記シーケンスヘッダから再生する場合に、前記PATを含むトランスポートパケット及び前記PMTを含むトランスポートパケット以降を再生することを特徴とするAVデータ再生装置。  
25

25. 前記所定の位置が、直前の位置である請求項24記載のAVデータ再生装置。

26. 記録媒体からトランスポートパケット及び前記トランスポートパケットに関する管理情報を読み出す読み出し部と、

- 5 前記管理情報を参照してシーケンスヘッダの少なくとも一部を含むトランスポートパケットから出力を開始する出力部を有し、

前記管理情報が、前記シーケンスヘッダに対して最も近い過去に出力すべきPCRを含むトランスポートパケットに対してさらに過去に遡って最も近い過去に出力すべきPMT（プログラム・マップ・テーブル）

- 10 を含む前記トランスポートパケットに対してさらに過去に遡って最も近い過去に出力すべきPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含む前記トランスポートパケットの位置情報を含み、

前記読み出し部において、前記トランスポートパケットを出力する前に前記管理情報における前記位置情報を参照して、前記PATを含む前

- 15 記トランスポートパケット及び前記PMTを含む前記トランスポートパケットを読み出し、

前記出力部において、前記PATを含む前記トランスポートパケット、前記PMTを含む前記トランスポートパケット、及び前記PCRを含むトランスポートパケットを、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポートパケットを出力する前に出力することを特徴とするAVデータ再生装置。

27. 記録媒体からトランスポートパケット及び前記トランスポートパケットに関する管理情報を読み出す読み出し部と、

- 25 前記管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットから出力を開始する出力部を有し、

前記管理情報が、前記シーケンスヘッダを含むトランスポートパケッ

トよりも所定の時間前に出力すべき前記トランスポートパケットの位置情報を含み、

- 前記読み出し部において、前記トランスポートパケットを出力する前に前記管理情報における前記位置情報を参照して、所定の時間前に出力すべきトランスポートパケットから前記シーケンスヘッダを含むトランスポートパケットまでのトランスポートパケットに含まれているPAT及びPMTを含むトランスポートパケットを少なくとも読み出し、
- 5    前記読み出し部において、前記PAT及びPMTを含むトランスポートパケットを、前記シーケンスヘッダを含むトランスポートパケットを出力する前に出力することを特徴とするAVデータ再生装置。

28. 記録媒体からトランスポートパケット及び前記トランスポートパケットに関する管理情報を読み出す読み出し部と、
- 10    前記管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットから出力を開始する出力部を有し、

- 前記管理情報が、前記シーケンスヘッダを含むトランスポートパケット以降に出力すべき最初のPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含む前記トランスポートパケットの位置情報と、前記シーケンスヘッダを含むトランスポートパケット以降に出力すべき最初のPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含む前記トランスポートパケットの位置情報とを含み、
- 15    前記読み出し部において、前記管理情報における前記位置情報を参照して、前記PMTを含む前記トランスポートパケット及び前記PATを含む前記トランスポートパケットを読み出し、
- 20    前記出力部において、前記PATを含む前記トランスポートパケット及び前記PMTを含む前記トランスポートパケットを、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポートパケットを出力する前に出力すること

を特徴とするＡＶデータ再生装置。

２９．記録媒体からトランスポート packets 及び前記トランスポート packets に関する管理情報を読み出す読み出し部と、

前記管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポート packets から出力を開始する出力部を有し、

前記管理情報が、前記シーケンスヘッダの位置情報を含み、

前記読み出し部において、前記管理情報における前記位置情報を参照して、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポート packets よりも所定数だけ前の前記トランスポート packets を読み出し、

１０ 前記出力部において、前記所定数だけ前の前記トランスポート packets のうち、最も後ろにある前記 P A T を含む前記トランスポート packets と、最も後ろにある前記 P M T を含む前記トランスポート packets と、最も後ろにある P C R を含むトランスポート packets を、所定の変換後、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポート packets を出力する前に出力することを特徴とするＡＶデータ再生装置。

３０．記録媒体からトランスポート packets 及び前記トランスポート packets に関する管理情報を読み出す読み出し部と、

前記管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポート packets から出力を開始する出力部を有し、

２０ 前記管理情報が、前記シーケンスヘッダの位置情報を含み、

前記読み出し部において、前記管理情報における前記位置情報を参照して、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポート packets よりも所定数だけ後ろの前記トランスポート packets を読み出し、

前記出力部において、前記所定数だけ前の前記トランスポート packets のうち、最も前にある前記 P A T を含む前記トランスポート packets と、最も前にある前記 P M T を含む前記トランスポート packets と、最



も前にあるPCRを含むトランスポート packets を、所定の変換後、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポート packets を出力する前に出力することを特徴とするAVデータ再生装置。

31. 記録媒体に記録されたMP EGトランスポート packets から構成  
5 される音声データを再生する音声再生部を有し、

前記音声データが、所定数の音声フレームを含むトランスポート packets に対して所定の位置にPAT (プログラム・アソシエーション・テーブル) を含むトランスポート packets と、PMT (プログラム・マップ・テーブル) を含むトランスポート packets とを含み、

- 10 前記音声データに含まれる前記音声フレームの先頭から再生する場合に、前記PATを含むトランスポート packets 及び前記PMTを含む前記トランスポート packets 以降を再生することを特徴とするAVデータ再生装置。

32. 前記所定の位置が、直前の位置である請求項31記載のAVデータ  
15 再生装置。

33. 記録媒体からトランスポート packets 及び前記トランスポート packets に関する管理情報を読み出す読み出し部と、

前記管理情報を参照して指定された出力開始時刻に対応するトランスポート packets から出力を開始する出力部を有し、

- 20 前記管理情報が、複数の前記トランスポート packets からなるグループの先頭のトランスポート packets の位置情報と、前記グループの出力経過時間情報とを含み、

- 前記出力部において、前記出力経過時間情報を参照することにより指定された前記出力開始時刻から出力開始位置を特定し、以降のトランス  
25 ポート packets を出力することを特徴とするAVデータ再生装置。

34. 記録媒体からトランスポート packets 及び前記トランスポート packets

ケットに関する管理情報を読み出す読み出し部と、

前記管理情報を参照して指定された出力開始時刻に対応するトランスポートケットから出力を開始する出力部を有し、

- 前記管理情報が、複数の前記トランスポートケットからなるグループの先頭のトランスポートケットの位置情報と、前記グループが含む復号単位の個数と、前記グループの出力経過時間情報とを含み、

- 前記出力部において、前記復号単位の個数又は前記出力経過時間情報を参照することにより指定された前記出力開始時刻から出力開始位置を特定し、以降のトランスポートケットを出力することを特徴とするAVデータ再生装置。

35. 記録媒体からトランスポートケット及び前記トランスポートケットに関する管理情報を読み出す読み出し部と、

前記管理情報を参照して指定された出力開始時刻に対応するトランスポートケットから出力を開始する出力部を有し、

- 前記管理情報が、複数の前記トランスポートケットからなるグループの先頭のトランスポートケットの位置情報と、前記グループが含む復号単位の個数と、前記グループの出力経過時間情報とを含み、

- 前記出力部において、前記復号単位の個数を参照して算出した出力経過時間と前記出力経過時間情報を比較し、前記経過時間の差が所定の値よりも大きい場合には、前記出力経過時間情報から出力開始位置を特定し、以降のトランスポートケットを出力することを特徴とするAVデータ再生装置。

36. トランスポートケット入力部と、

入力した前記トランスポートケットを復号して出力する復号部と、

- 前記トランスポートケットに含まれるPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）、PMT（プログラム・マップ・テーブル）、

及びPCR（プログラム・クロック・リファレンス）を抽出して前記復号部の初期化を実施する初期化部を有し、

前記復号部において、前記初期化部の処理が完了するまで入力した前記トランスポート packets を記憶しておき、前記初期化部の処理が完了した後で、前記記憶されたPCRを含むトランスポート packets 以降のトランスポート packets から復号処理を開始することを特徴とするAVデータ再生装置。

37. 映像データをMPEGトランスポート packets を含む単位 packets が連続するデータとして記録する映像記録部と、

10 前記MPEGトランスポート packets を含む単位 packets から構成される前記映像データを再生する映像再生部を有し、

前記映像記録部において、前記映像データ内のシーケンスヘッダを含むトランスポート packets 前の所定の位置にPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポート packets 、及びPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポート packets を所定の間隔で記録し、

前記映像再生部において、前記映像データに含まれる前記シーケンスヘッダから再生する場合に、前記PATを含むトランスポート packets 及び前記PMTを含むトランスポート packets 以降を再生することを特徴とするAVデータ記録再生装置。

38. トランスポート packets 入力部と、

前記トランスポート packets に関する管理情報を生成する管理情報生成部と、

前記トランスポート packets 及び前記管理情報を記録する記録部と、  
25 記録媒体から前記トランスポート packets 及び前記トランスポート packets に関する管理情報を読み出す読み出し部と、

前記管理情報を参照してシーケンスヘッダの少なくとも一部を含むトランスポートパケットから

出力を開始する出力部を有し、

- 前記管理情報が、前記シーケンスヘッダの少なくとも一部を含む前記
- 5    トランスポートパケットに対して最も近い過去に入力したPCRを含むトランスポートパケットに対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含む前記トランスポートパケットに対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含む前記トランスポートパケットの位置情報を含み、
- 10

前記読み出し部において、前記トランスポートパケットを出力する前に前記管理情報における前記位置情報を参照して、前記PATを含む前記トランスポートパケット及び前記PMTを含む前記トランスポートパケットを読み出し、

- 15    前記出力部において、前記PATを含む前記トランスポートパケット、前記PMTを含む前記トランスポートパケット、及び前記PCRを含むトランスポートパケットを、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポートパケットを出力する前に出力することを特徴とするAVデータ記録再生装置。

- 20    39. トランスポートパケット入力部と、

前記トランスポートパケットに関する管理情報を生成する管理情報生成部と、

前記トランスポートパケット及び前記管理情報を記録する記録部と、

- 記録媒体から前記トランスポートパケット及び前記トランスポートパ
- 25    ケットに関する管理情報を読み出す読み出し部と、

前記管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポートパケ

ットから出力を開始する出力部を有し、

- 前記管理情報が、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポートパケットの所定の時間前に入力した最初のPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含む前記トランスポートパケットの位置情報と、前記シー
- 5 ケンスヘッダを含む前記トランスポートパケット以降に入力した前記トランスポートパケットの位置情報を含み、

- 前記読み出し部において、前記トランスポートパケットを出力する前に前記管理情報における前記位置情報を参照して、所定の時間前に出力すべきトランスポートパケットから前記シーケンスヘッダを含むトランス
- 10 ポートパケットまでのトランスポートパケットに含まれているPAT及びPMTを含む前記トランスポートパケットを少なくとも読み出し、

前記出力部において、前記PAT及びPMTを含む前記トランスポートパケットを、前記シーケンスヘッダを含むトランスポートパケットを出力する前に出力することを特徴とするAVデータ記録再生装置。

- 15 40. トランスポートパケット入力部と、

前記トランスポートパケットに関する情報から管理情報を生成する管理情報生成部と、

- 前記トランスポートパケット及び前記管理情報を記録する記録部と、
- 記録媒体からトランスポートパケット及び前記トランスポートパケッ
- 20 トに関する管理情報を読み出す読み出し部と、

前記管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットから出力を開始する出力部を有し、

- 前記管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含む前記トランスポートパケット以降に入力した最初のPMT（プログラム・マップ
- 25 ・テーブル）を含む前記トランスポートパケットの位置情報と、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポートパケット以降に入力した最初

のPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含む前記トランスポートパケットの位置情報とを含み、

- 前記読み出し部において、前記管理情報における前記位置情報を参照して、前記PMTを含む前記トランスポートパケット及び前記PATを含む前記トランスポートパケットを読み出し、
- 5

前記出力部において、前記PATを含む前記トランスポートパケット及び前記PATを含む前記トランスポートパケットを、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポートパケットを出力する前に出力することを特徴とするAVデータ記録再生装置。

- 10 41. 音声データをMPEGトランスポートパケットを含む単位パケットが連続するデータとして記録する音声記録部と、

記録媒体に記録された前記MPEGトランスポートパケットから構成される前記音声データを再生する音声再生部を有し、

- 前記音声データが、所定数の音声フレームを含むトランスポートパケットに対して所定の位置にPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケットと、PMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットとを含み、
- 15

- 前記音声データに含まれる前記音声フレームの先頭から再生する場合に、前記PATを含むトランスポートパケット及び前記PMTを含む前記トランスポートパケット以降を再生することを特徴とするAVデータ記録再生装置。
- 20

42. トランスポートパケット入力部と、

前記トランスポートパケットに関する管理情報を生成する管理情報生成部と、

- 25 前記トランスポートパケット及び前記管理情報を記録する記録部と、  
記録媒体から前記トランスポートパケット及び前記トランスポートパ

ケットに関する管理情報を読み出す読み出し部と、

前記管理情報を参照して指定された出力開始時刻に対応するトランスポートパケットから出力を開始する出力部を有し、

- 前記管理情報が、複数の前記トランスポートパケットからなるグループの先頭のトランスポートパケットの位置情報と、前記グループが含む復号単位の個数と、前記グループの出力経過時間情報とを含み、
- 5

- 前記出力部において、前記復号単位の個数又は前記出力経過時間情報を参照することにより指定された前記出力開始時刻から出力開始位置を特定し、以降のトランスポートパケットを出力することを特徴とするA
- 10 Vデータ記録再生装置。

4 3. 映像データを、MPEGトランスポートパケットを含む単位パケットが連続するデータとして記録する工程を有し、

- 前記映像データ内のシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットの前の所定の位置にPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケット、及びPMT（プログラム・マップ・
- 15 テーブル）を含むトランスポートパケットを所定の間隔で記録することを特徴とするAVデータ記録方法。

4 4. トランスポートパケットを入力する工程と、

- 前記トランスポートパケットに含まれる情報から管理情報を生成する
- 20 工程と、

前記トランスポートパケット及び前記管理情報を記録する工程を有し、

- 前記管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含む前記トランスポートパケットの位置情報を含むことを特徴とするAVデータ記録
- 25 方法。

4 5. トランスポートパケットを入力する工程と、

前記トランスポート packets に関する管理情報を生成する工程と、  
前記トランスポート packets 及び前記管理情報を記録する工程を有し

、

- 前記管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含む前記トランスポート packets に対して最も近い過去に入力した PCR を含むトランスポート packets に対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力した PMT (プログラム・マップ・テーブル) を含む前記トランスポート packets に対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力した PAT (プログラム・アソシエーション・テーブル) を含む前記トランスポート packets の位置情報を含むことを特徴とする AV データ記録方法。

46. トランスポート packets を入力する工程と、

前記トランスポート packets に関する管理情報を生成する工程と、  
前記トランスポート packets 及び前記管理情報を記録する工程を有し

、

- 15 前記管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含む前記トランスポート packets の所定の時間前に入力した前記トランスポート packets の位置情報を含むことを特徴とする AV データ記録方法。

47. トランスポート packets を入力する工程と、

- 前記トランスポート packets に関する管理情報を生成する工程と、  
20 前記トランスポート packets 及び前記管理情報を記録する工程を有し

、

- 前記管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含む前記トランスポート packets 以降に入力した最初の PMT (プログラム・マップ・テーブル) を含む前記トランスポート packets の位置情報と、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポート packets 以降に入力した最初の PAT (プログラム・アソシエーション・テーブル) を含む前記トラ



- ンスポートパケットの位置情報とを含むことを特徴とするＡＶデータ記録方法。
- ４８．音声データを、ＭＰＥＧトランスポートパケットを含む単位パケットが連続するデータとして記録する工程を有し、
- ５ 前記音声データを記録する工程において、所定数の音声フレームを含むトランスポートパケットの直前にＰＡＴ（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケットと、ＰＭＴ（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットを記録することを特徴とするＡＶデータ記録方法。
- 10 ４９．トランスポートパケットを入力する工程と、  
前記トランスポートパケットに関する管理情報を生成する工程と、  
前記トランスポートパケット及び前記管理情報を記録する工程を有し、  
前記管理情報が、複数の前記トランスポートパケットからなるグループの先頭のトランスポートパケットの位置情報と、前記グループの入力経過時間情報とを含むことを特徴とするＡＶデータ記録方法。
- 15 ５０．トランスポートパケットを入力する工程と、  
前記トランスポートパケットに関する管理情報を生成する工程と、  
前記トランスポートパケット及び前記管理情報を記録する工程を有し、  
前記管理情報が、複数の前記トランスポートパケットからなるグループの先頭のトランスポートパケットの位置情報と、前記グループ内で共通に含まれるＰＡＴ（プログラム・アソシエーション・テーブル）及び  
ＰＭＴ（プログラム・マップ・テーブル）を含むことを特徴とするＡＶ  
25 データ記録方法。
- ５１．トランスポートパケットを入力する工程と、

前記トランスポート packets に関する管理情報を生成する工程と、  
前記トランスポート packets 及び前記管理情報を記録する工程を有し

、

前記トランスポート packets が N 個の映像を並列に含み、

- 5 前記管理情報が前記 N 個の映像に含まれるシーケンスヘッダを含む前記トランスポート packets の位置情報を含むことを特徴とする AV データ記録方法。

5 2. 前記管理情報が、前記 N 個の映像に対する前記位置情報を並列に含む請求項 5 1 記載の AV データ記録装置。

- 10 5 3. MPEG トランスポート packets を含む単位 packets から構成される映像データを再生する工程を有し、

前記映像データはシーケンスヘッダを含むトランスポート packets の前の所定の位置に PAT (プログラム・アソシエーション・テーブル) を含むトランスポート packets 及び PMT (プログラム・マップ・テー

- 15 ブル) を含むトランスポート packets を含み、

前記映像データに含まれる前記シーケンスヘッダから再生する場合に、前記 PAT を含むトランスポート packets 及び前記 PMT を含むトランスポート packets 以降を再生することを特徴とする AV データ再生方法。

- 20 5 4. 記録媒体からトランスポート packets 及び前記トランスポート packets に関する管理情報を読み出す工程と、

前記管理情報を参照してシーケンスヘッダの少なくとも一部を含むトランスポート packets から出力を開始する工程を有し、

- 前記管理情報が、前記シーケンスヘッダに対して最も近い過去に出力すべき PCR を含むトランスポート packets に対してさらに個々に遡って最も近い過去に出力すべき PMT (プログラム・マップ・テーブル)
- 25

を含む前記トランスポートパケットに対してさらに過去に遡って最も近い過去に出力すべきPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含む前記トランスポートパケットの位置情報を含み、

- 前記管理情報を読み出す工程において、前記トランスポートパケット
- 5    を出力する前に前記管理情報における前記位置情報を参照して、前記PATを含む前記トランスポートパケット及び前記PMTを含む前記トランスポートパケットを読み出し、

- 前記出力を開始する工程において、前記PATを含む前記トランスポートパケット、前記PMTを含む前記トランスポートパケット、及び前
- 10   記PCRを含むトランスポートパケットを、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポートパケットを出力する前に出力することを特徴とするAVデータ再生方法。

55. 記録媒体からトランスポートパケット及び前記トランスポートパケットに関する管理情報を読み出す工程と、

- 15   前記管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポートパケットから出力を開始する工程を有し、

前記管理情報が、前記シーケンスヘッダを含むトランスポートパケットよりも所定の時間前に出力すべき前記トランスポートパケットの位置情報を含み、

- 20   前記管理情報を読み出す工程において、前記トランスポートパケットを出力する前に前記管理情報における前記位置情報を参照して、所定の時間前に出力すべきトランスポートパケットから前記シーケンスヘッダを含むトランスポートパケットまでのトランスポートパケットに含まれているPAT及びPMTを含むトランスポートパケットを少なくとも読
- 25   み出し、

前記出力を開始する工程において、前記PAT及びPMTを含むトラ

- nsポート packets を、前記シーケンスヘッダを含むトランスポート packets を出力する前に出力することを特徴とする AV データ再生方法。
56. 記録媒体からトランスポート packets 及び前記トランスポート packets に関する管理情報を読み出す工程と、
- 5 前記管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポート packets から出力を開始する工程を有し、
- 前記管理情報が、前記シーケンスヘッダを含むトランスポート packets 以降に出力すべき最初の PMT (プログラム・マップ・テーブル) を含む前記トランスポート packets の位置情報と、前記シーケンスヘッダ
- 10 を含むトランスポート packets 以降に出力すべき最初の PAT (プログラム・アソシエーション・テーブル) を含む前記トランスポート packets の位置情報とを含み、
- 前記管理情報を読み出す工程において、前記管理情報における前記位置情報を参照して、前記 PMT を含む前記トランスポート packets 及び
- 15 前記 PAT を含む前記トランスポート packets を読み出し、
- 前記出力を開始する工程において、前記 PAT を含む前記トランスポート packets 及び前記 PMT を含む前記トランスポート packets を、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポート packets を出力する前に出力することを特徴とする AV データ再生方法。
- 20 57. 記録媒体からトランスポート packets 及び前記トランスポート packets に関する管理情報を読み出す工程と、
- 前記管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポート packets から出力を開始する工程を有し、
- 前記管理情報が、前記シーケンスヘッダの位置情報を含み、
- 25 前記管理情報を読み出す工程において、前記管理情報における前記位置情報を参照して、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポート packets

ケットよりも所定数だけ前の前記トランスポート packets を読み出し、

前記出力を開始する工程において、前記所定数だけ前の前記トランスポート packets のうち、最も後ろにある前記 P A T を含む前記トランスポート packets と、最も後ろにある前記 P M T を含む前記トランスポート packets と、最も後ろにある P C R を含むトランスポート packets を、所定の変換後、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポート packets を出力する前に出力することを特徴とする A V データ再生方法。

5 8. 記録媒体からトランスポート packets 及び前記トランスポート packets に関する管理情報を読み出す工程と、

10 前記管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポート packets から出力を開始する工程を有し、

前記管理情報が、前記シーケンスヘッダの位置情報を含み、

前記管理情報を読み出す工程において、前記管理情報における前記位置情報を参照して、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポート packets よりも所定数だけ後ろの前記トランスポート packets を読み出し、

前記出力を開始する工程において、前記所定数だけ前の前記トランスポート packets のうち、最も前にある前記 P A T を含む前記トランスポート packets と、最も前にある前記 P M T を含む前記トランスポート packets と、最も前にある P C R を含むトランスポート packets を、所定の変換後、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポート packets を出力する前に出力することを特徴とする A V データ再生方法。

5 9. 記録媒体に記録された M P E G トランスポート packets から構成される音声データを再生する工程を有し、

25 前記音声データが、所定数の音声フレームを含むトランスポート packets に対して所定の位置に P A T (プログラム・アソシエーション・テ

ープル)を含むトランスポートパケットと、PMT(プログラム・マップ・テーブル)を含むトランスポートパケットとを含み、

前記音声データに含まれる前記音声フレームの先頭から再生する場合に、前記PATを含むトランスポートパケット及び前記PMTを含む前記トランスポートパケット以降を再生することを特徴とするAVデータ再生方法。

60. 記録媒体からトランスポートパケット及び前記トランスポートパケットに関する管理情報を読み出す工程と、

前記管理情報を参照して指定された出力開始時刻に対応するトランスポートパケットから出力を開始する工程を有し、

前記管理情報が、複数の前記トランスポートパケットからなるグループの先頭のトランスポートパケットの位置情報と、前記グループの出力経過時間情報とを含み、

前記出力を開始する工程において、前記出力経過時間情報を参照することにより指定された前記出力開始時刻から出力開始位置を特定し、以降のトランスポートパケットを出力することを特徴とするAVデータ再生方法。

61. 記録媒体からトランスポートパケット及び前記トランスポートパケットに関する管理情報を読み出す工程と、

前記管理情報を参照して指定された出力開始時刻に対応するトランスポートパケットから出力を開始する工程を有し、

前記管理情報が、複数の前記トランスポートパケットからなるグループの先頭のトランスポートパケットの位置情報と、前記グループが含む復号単位の個数と、前記グループの出力経過時間情報とを含み、

前記出力を開始する工程において、前記復号単位の個数又は前記出力経過時間情報を参照することにより指定された前記出力開始時刻から出

力開始位置を特定し、以降のトランスポート packets を出力することを特徴とする AV データ再生方法。

6 2. 記録媒体からトランスポート packets 及び前記トランスポート packets に関する管理情報を読み出す工程と、

- 5 前記管理情報を参照して指定された出力開始時刻に対応するトランスポート packets から出力を開始する工程を有し、

前記管理情報が、複数の前記トランスポート packets からなるグループの先頭のトランスポート packets の位置情報と、前記グループが含む復号単位の個数と、前記グループの出力経過時間情報とを含み、

- 10 前記出力を開始する工程において、前記復号単位の個数を参照して算出した出力計か時間と前記出力経過時間情報を比較し、前記経過時間の差が所定の値よりも大きい場合には、前記出力経過時間情報から出力開始位置を特定し、以降のトランスポート packets を出力することを特徴とする AV データ再生方法。

- 15 6 3. トランスポート packets を入力する工程と、

入力した前記トランスポート packets を復号して出力する工程と、

前記トランスポート packets に含まれる PAT (プログラム・アソシエーション・テーブル)、PMT (プログラム・マップ・テーブル)、及び PCR (プログラム・クロック・リファレンス) を抽出して前記復

- 20 号して出力する工程の初期化を実施する工程を有し、

前記復号して出力する工程において、前記初期化を実施する工程における処理が完了するまで入力した前記トランスポート packets を記憶しておき、前記初期化を実施する工程における処理が完了した後で、前記記憶された PCR を含むトランスポート packets 以降のトランスポート

- 25 packets から復号処理を開始することを特徴とする AV データ再生方法。

。

64. 映像データをMPEGトランスポートパケットを含む単位パケットが連続するデータとして記録する工程と、

前記MPEGトランスポートパケットを含む単位パケットから構成される前記映像データを再生する工程を有し、

- 5 前記映像データを記録する工程において、前記映像データ内のシーケンスヘッダを含むトランスポートパケット前の所定の位置にPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケット、及びPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットを所定の間隔で記録し、

- 10 前記映像データを再生する工程において、前記映像データに含まれる前記シーケンスヘッダから再生する場合に、前記PATを含むトランスポートパケット及び前記PMTを含むトランスポートパケット以降を再生することを特徴とするAVデータ記録再生方法。

65. トランスポートパケットを入力する工程と、

- 15 前記トランスポートパケットに関する管理情報を生成する工程と、  
前記トランスポートパケット及び前記管理情報を記録する工程と、  
記録媒体から前記トランスポートパケット及び前記トランスポートパケットに関する管理情報を読み出す工程と、

- 前記管理情報を参照してシーケンスヘッダの少なくとも一部を含むトランスポートパケットから出力を開始する工程を有し、

- 20 前記管理情報が、前記シーケンスヘッダの少なくとも一部を含む前記トランスポートパケットに対して最も近い過去に入力したPCRを含むトランスポートパケットに対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含む前記トランスポートパケットに対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含む前記トランスポ



ートパケットの位置情報を含み、

- 前記管理情報を読み出す工程において、前記トランスポートパケット  
を出力する前に前記管理情報における前記位置情報を参照して、前記 P  
A T を含む前記トランスポートパケット及び前記 P M T を含む前記トラ  
5   ンスポートパケットを読み出し、

- 前記出力を開始する工程において、前記 P A T を含む前記トランスポ  
ートパケット、前記 P M T を含む前記トランスポートパケット、及び前  
記 P C R を含むトランスポートパケットを、前記シーケンスヘッダを含  
む前記トランスポートパケットを出力する前に出力することを特徴とす  
10   る A V データ記録再生方法。

6 6 . トランスポートパケットを入力する工程と、

- 前記トランスポートパケットに関する管理情報を生成する工程と、  
前記トランスポートパケット及び前記管理情報を記録する工程と、  
記録媒体から前記トランスポートパケット及び前記トランスポートパ  
15   ケットに関する管理情報を読み出す工程と、

前記管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポートパケ  
ットから出力を開始する工程を有し、

- 前記管理情報が、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポートパ  
ケットの所定の時間前に入力した最初の P M T (プログラム・マップ・  
20   テーブル) を含む前記トランスポートパケットの位置情報と、前記シー  
ケンスヘッダを含む前記トランスポートパケット以降に入力した前記ト  
ランスポートパケットの位置情報を含み、

- 前記管理情報を読み出す工程において、前記トランスポートパケット  
を出力する前に前記管理情報における前記位置情報を参照して、所定の  
25   時間前に出力すべきトランスポートパケットから前記シーケンスヘッダ  
を含むトランスポートパケットまでのトランスポートパケットに含まれ

ているPAT及びPMTを含む前記トランスポート packets を少なくとも読み出し、

- 前記出力を開始する工程において、前記PAT及びPMTを含む前記トランスポート packets を、前記シーケンスヘッダを含むトランスポート packets を出力する前に出力することを特徴とするAVデータ記録再生方法。

67. トランスポート packets を入力する工程と、

前記トランスポート packets に関する情報から管理情報を生成する工程と、

- 10 前記トランスポート packets 及び前記管理情報を記録する工程と、

記録媒体からトランスポート packets 及び前記トランスポート packets に関する管理情報を読み出す工程と、

前記管理情報を参照してシーケンスヘッダを含むトランスポート packets から出力を開始する工程を有し、

- 15 前記管理情報が、シーケンスヘッダの少なくとも一部を含む前記トランスポート packets 以降に入力した最初のPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含む前記トランスポート packets の位置情報と、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポート packets 以降に入力した最初のPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含む前記トランスポート packets の位置情報とを含み、

前記管理情報を読み出す工程において、前記管理情報における前記位置情報を参照して、前記PMTを含む前記トランスポート packets 及び前記PATを含む前記トランスポート packets を読み出し、

- 25 前記出力を開始する工程において、前記PATを含む前記トランスポート packets 及び前記PATを含む前記トランスポート packets を、前記シーケンスヘッダを含む前記トランスポート packets を出力する前に

出力することを特徴とするAVデータ記録再生方法。

68. 音声データをMPEGトランスポートパケットを含む単位パケットが連続するデータとして記録する工程と、

記録媒体に記録された前記MPEGトランスポートパケットから構成  
5 される前記音声データを再生する工程を有し、

前記音声データが、所定数の音声フレームを含むトランスポートパケットに対して所定の位置にPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケットと、PMT（プログラム・マップ・テーブル）を含むトランスポートパケットとを含み、

10 前記音声データに含まれる前記音声フレームの先頭から再生する場合に、前記PATを含むトランスポートパケット及び前記PMTを含む前記トランスポートパケット以降を再生することを特徴とするAVデータ記録再生方法。

69. トランスポートパケットを入力する工程と、

15 前記トランスポートパケットに関する管理情報を生成する工程と、

前記トランスポートパケット及び前記管理情報を記録する工程と、

記録媒体から前記トランスポートパケット及び前記トランスポートパケットに関する管理情報を読み出す工程と、

前記管理情報を参照して指定された出力開始時刻に対応するトランス  
20 ポートパケットから出力を開始する工程を有し、

前記管理情報が、複数の前記トランスポートパケットからなるグループの先頭のトランスポートパケットの位置情報と、前記グループが含む復号単位の個数と、前記グループの出力経過時間情報とを含み、

前記出力を開始する工程において、前記復号単位の個数又は前記出力  
25 経過時間情報を参照することにより指定された前記出力開始時刻から出力開始位置を特定し、以降のトランスポートパケットを出力することを

特徴とするAVデータ記録再生方法。

70. MPEGトランスポート packets が映像データを含み、

前記MPEGトランスポート packets を含む単位 packets が連続するデータ構造体であって、

- 5 前記映像データ内のシーケンスヘッダを含むトランスポート packets がPCR (プログラム・クロック・リファレンス) を含み、

前記シーケンスヘッダを含むトランスポート packets の前の所定の位置にPAT (プログラム・アソシエーション・テーブル) を含むトランスポート packets 及びPMT (プログラム・マップ・テーブル) を含む

- 10 トランスポート packets を所定の間隔で含むことを特徴とするデータ構造体。

71. 映像データ及び音声データを含むMPEGトランスポート packets に対する管理情報を含むデータ構造体であって、

- シーケンスヘッダの少なくとも一部を含む前記トランスポート packets  
15 に対して最も近い過去に入力したPCRを含むトランスポート packets に対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPMT (プログラム・マップ・テーブル) を含む前記トランスポート packets に対してさらに過去に遡って最も近い過去に入力したPAT (プログラム・アソシエーション・テーブル) を含む前記トランスポート packets の位置情  
20 報を含むことを特徴とするデータ構造体。

72. 入力した映像データ及び／又は音声データを含むMPEGトランスポート packets に対する管理情報を含むデータ構造体であって、

前記管理情報が、所定の時間内に入力した前記トランスポート packets の位置情報を含むことを特徴とするデータ構造体。

- 25 73. MPEGトランスポート packets が音声データを含み、

前記MPEGトランスポート packets を含む単位 packets が連続する

データ構造体であって、

所定数の音声フレームを含むトランスポートパケットの前の所定の位置にPAT（プログラム・アソシエーション・テーブル）を含むトランスポートパケット及びPMT（プログラム・マップ・テーブル）を含む

5 トランスポートパケットを含み、

前記所定数の音声フレームを含むトランスポートパケットの先頭以前の所定の位置にPCR（プログラム・クロック・リファレンス）を含むことを特徴とするデータ構造体。

74. N個の映像を並列に含むMPEGトランスポートパケットに対する  
10 管理情報を含むデータ構造体であって、

前記管理情報が、前記N個の映像に含まれるシーケンスヘッダが格納された前記トランスポートパケットの位置情報を含むことを特徴とするデータ構造体。

75. 請求項1から23のいずれか一項に記載のAVデータ記録装置を用いて記録されたことを特徴とする記録媒体。  
15

76. 請求項37から42のいずれか一項に記載のAVデータ記録再生装置を用いて記録されたことを特徴とする記録媒体。

77. 請求項43から52のいずれか一項に記載のAVデータ記録方法を用いて記録されたことを特徴とする記録媒体。

20 78. 請求項64から69のいずれか一項に記載のAVデータ記録再生方法を用いて記録されたことを特徴とする記録媒体。

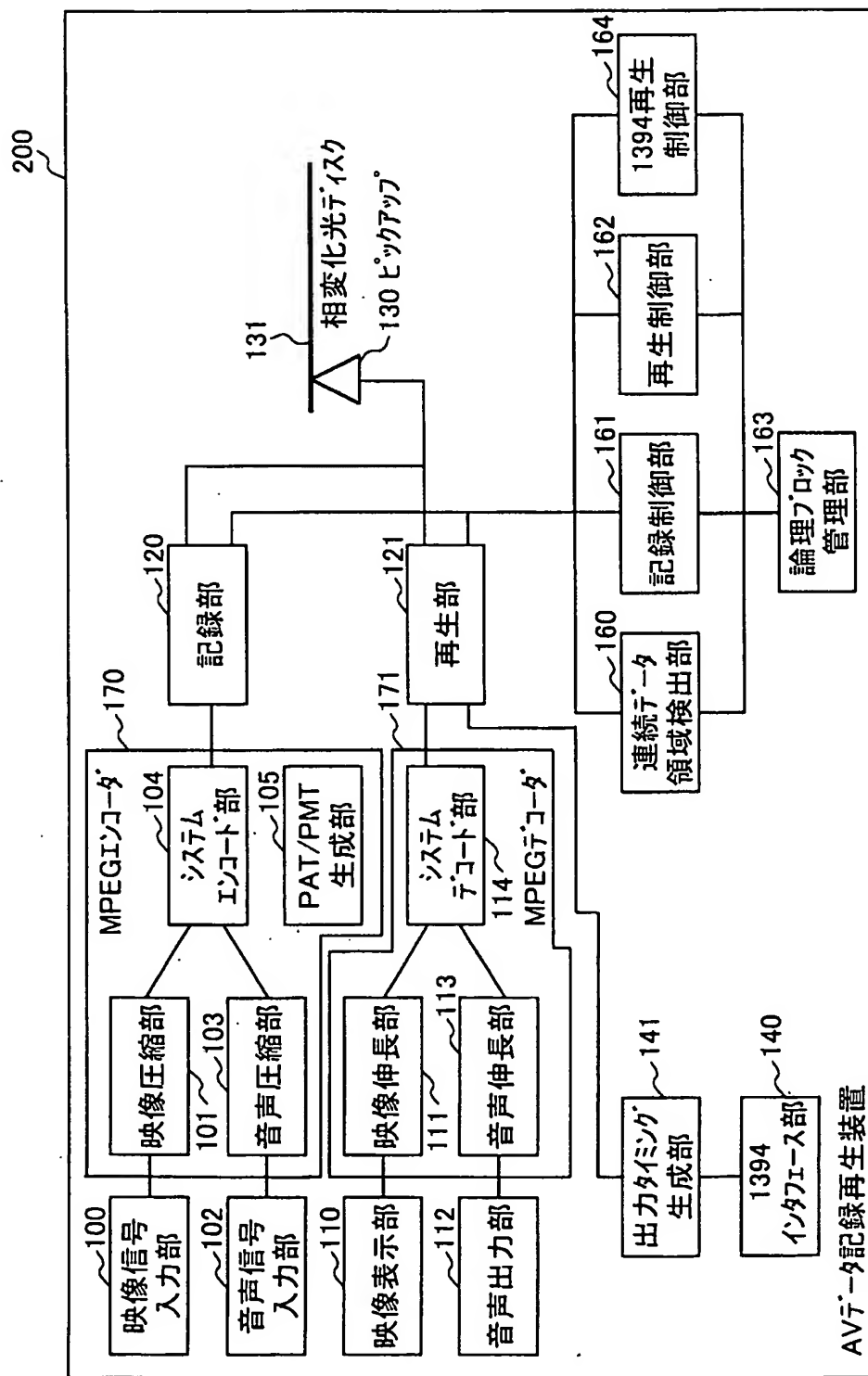
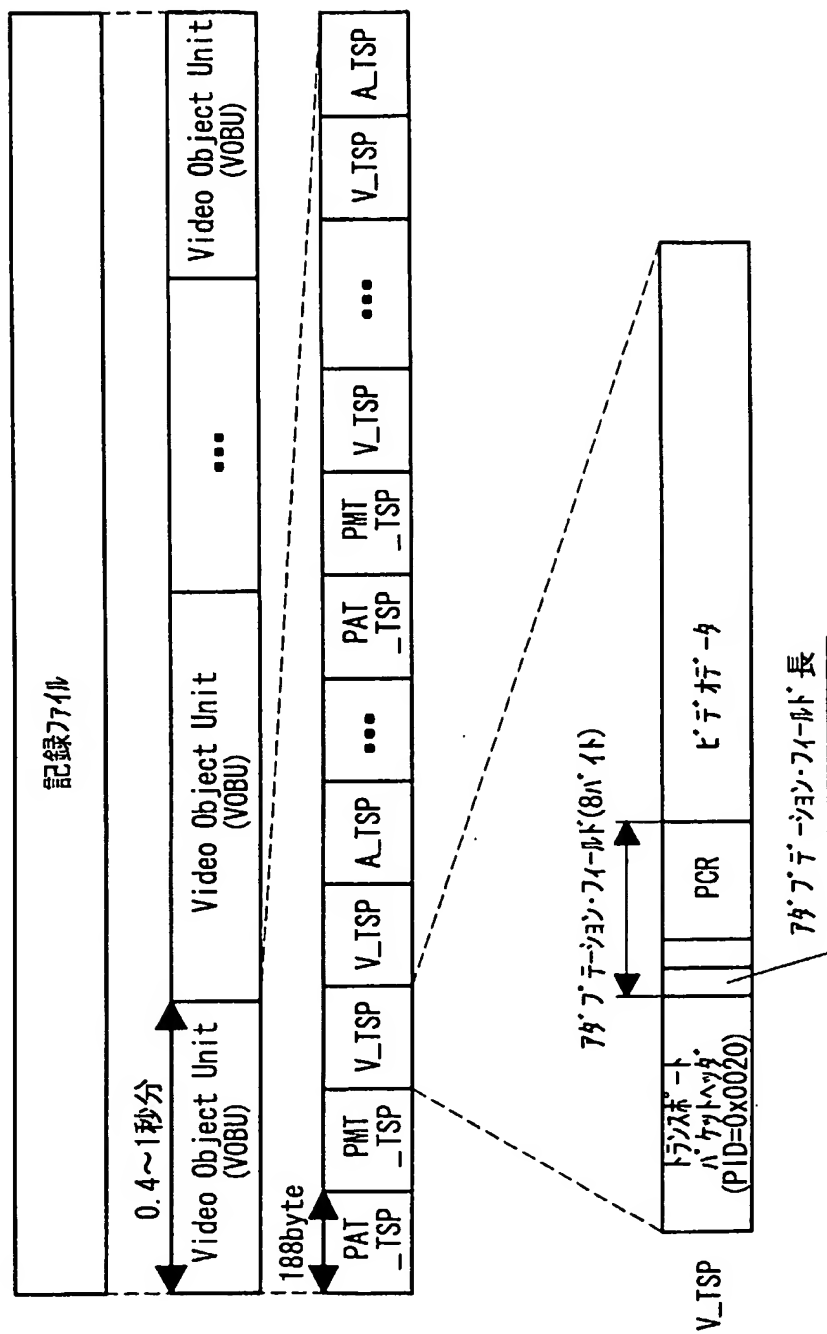


FIG.1



**FIG. 2**

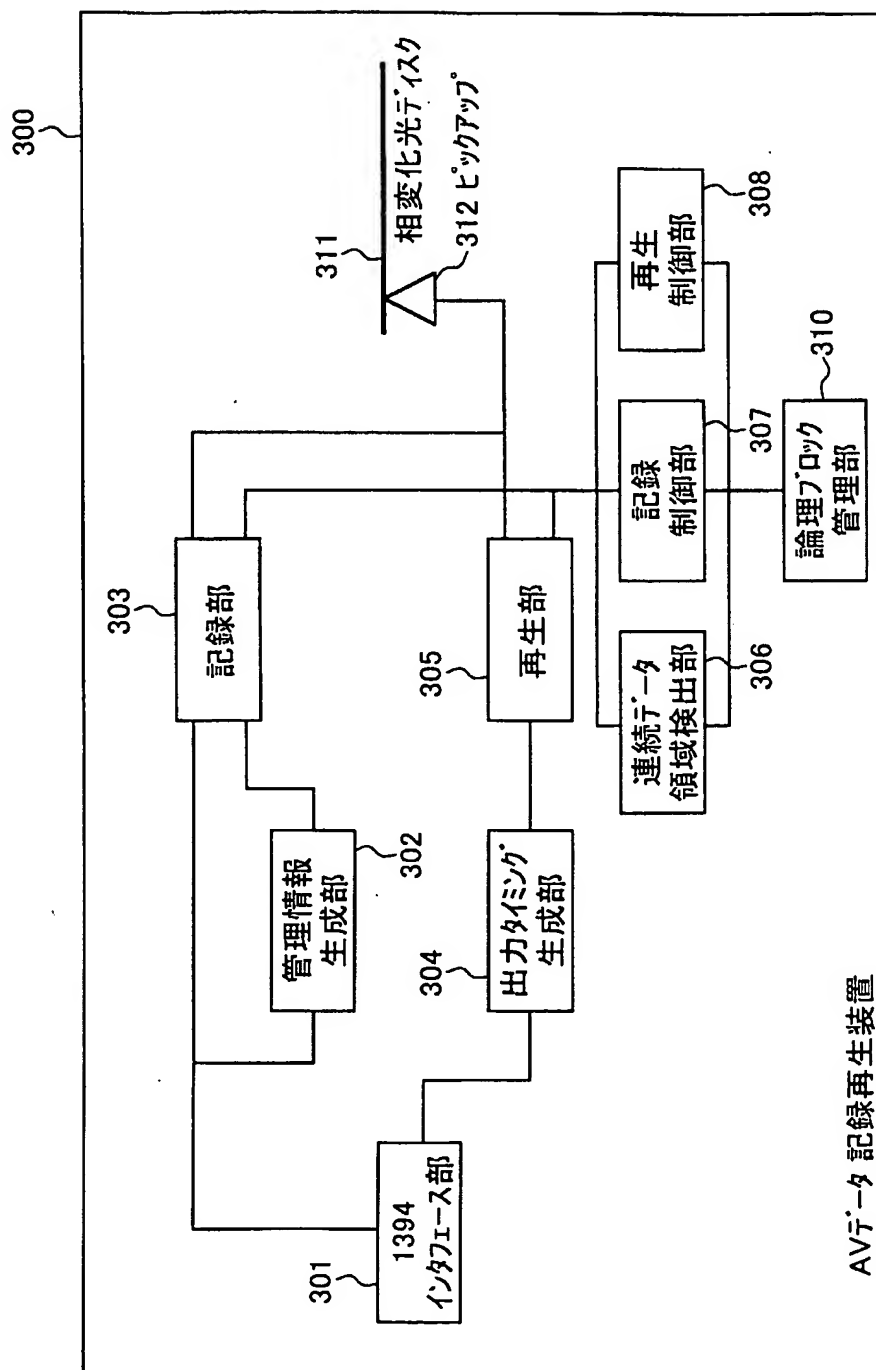


FIG.3



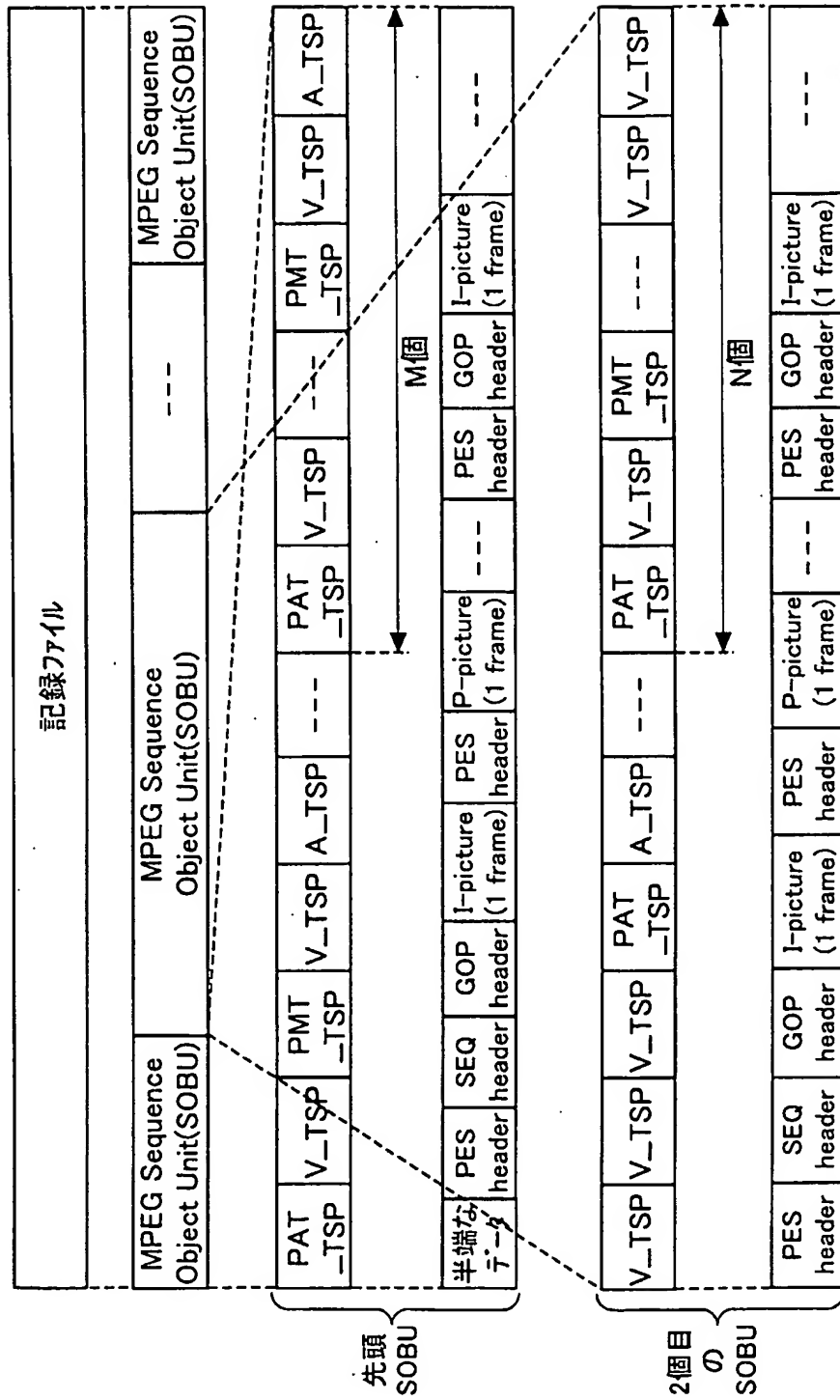


FIG.4

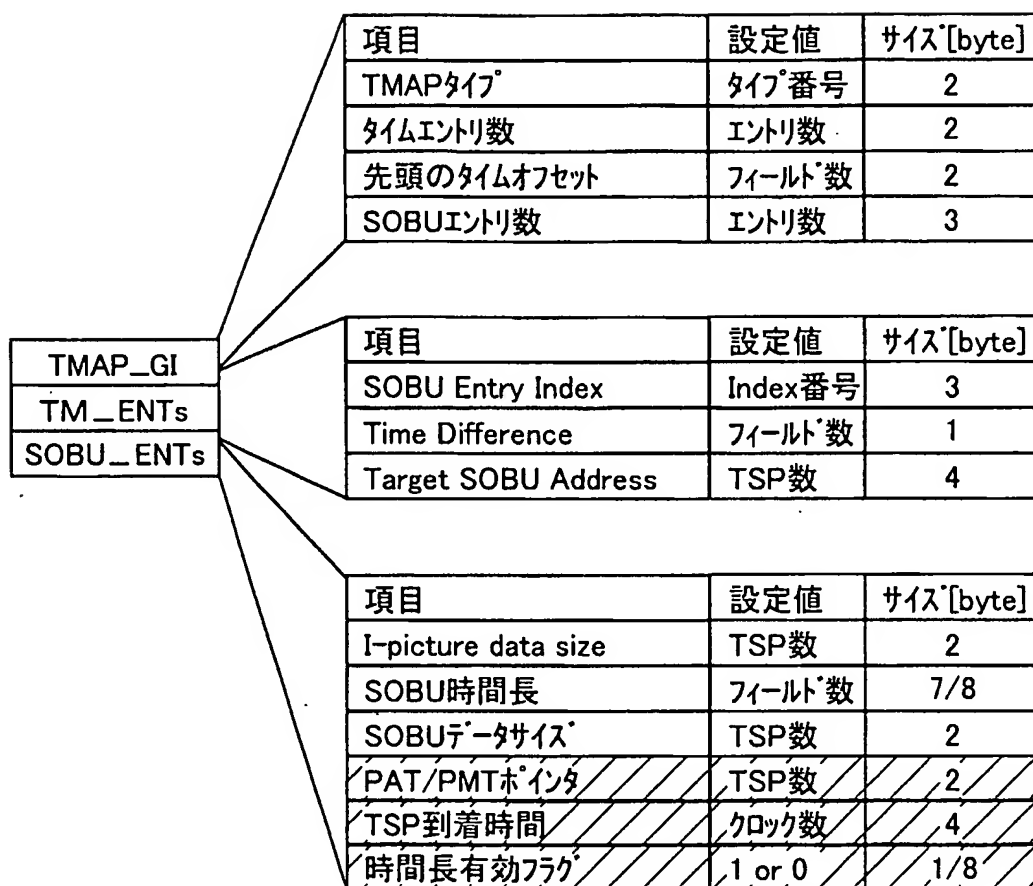


FIG.5

PID	ストリーム種別
映像PID	ISO/IEC 13818-2
音声PID	ISO/IEC 13818-3
PCRのPID	PCR
PMTのPID	PMT
-----	-----

FIG.6

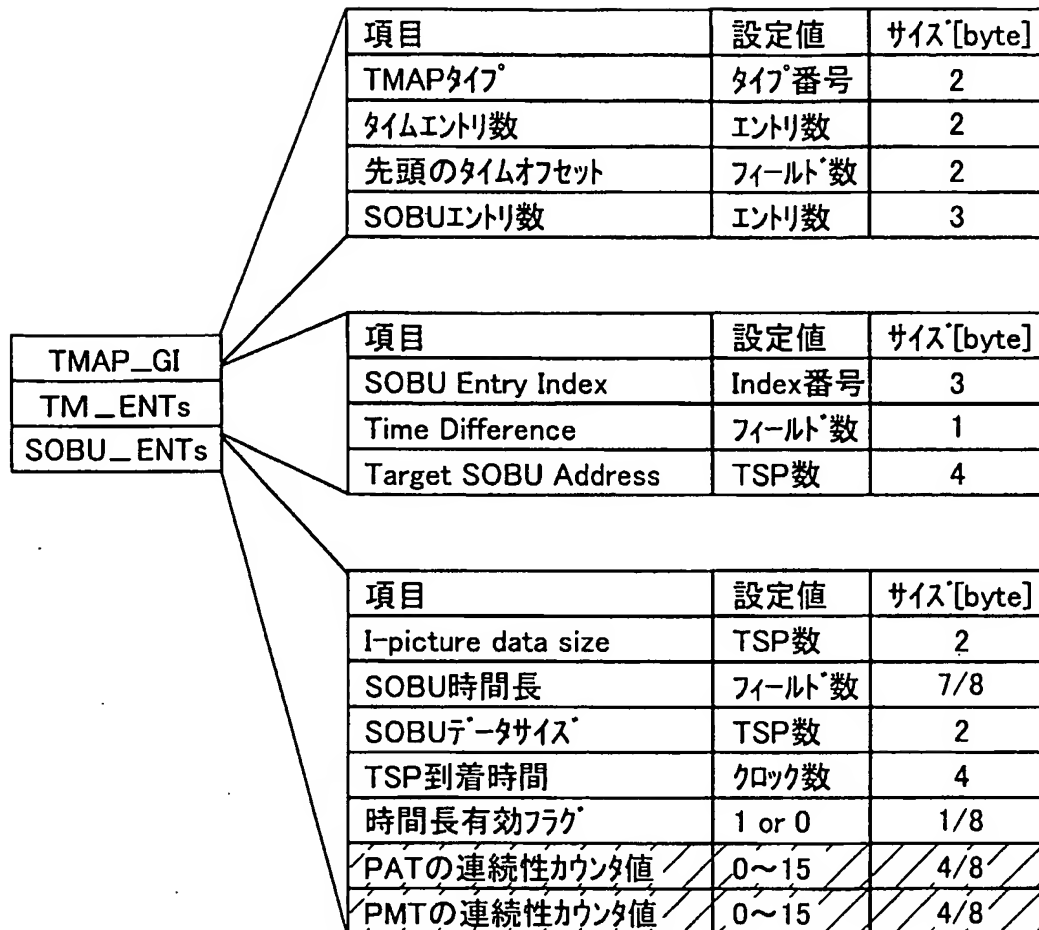


FIG.7

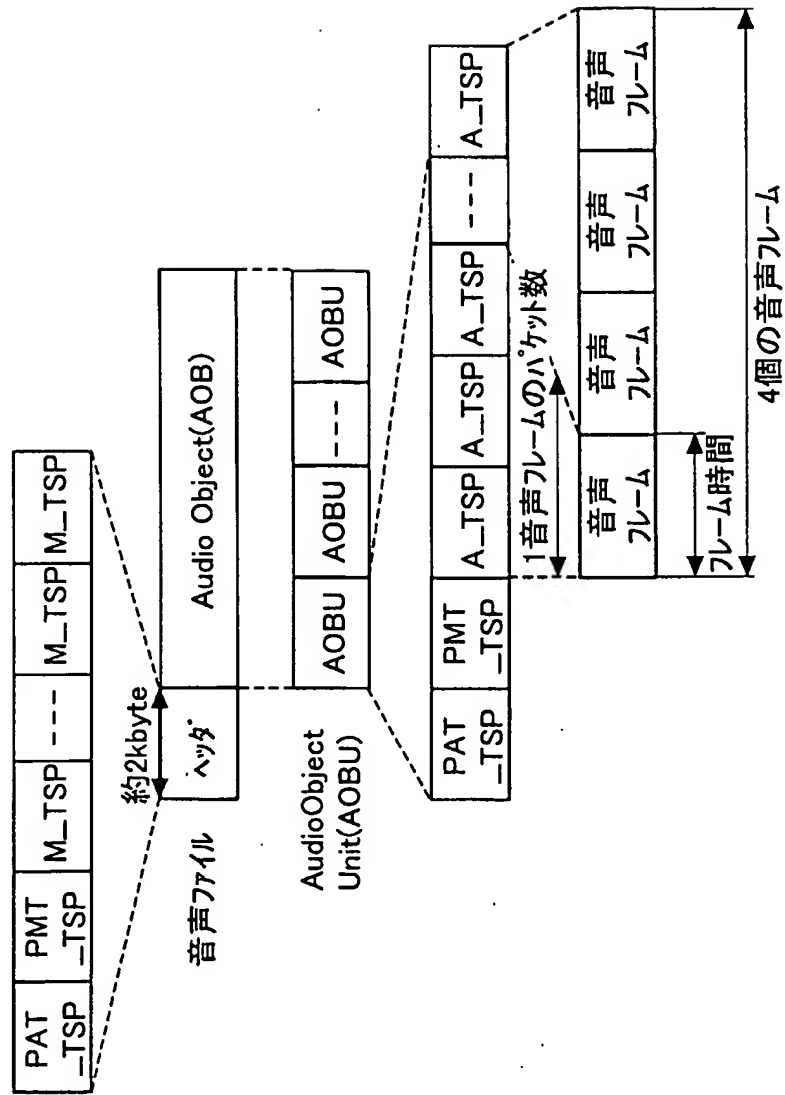


FIG.8

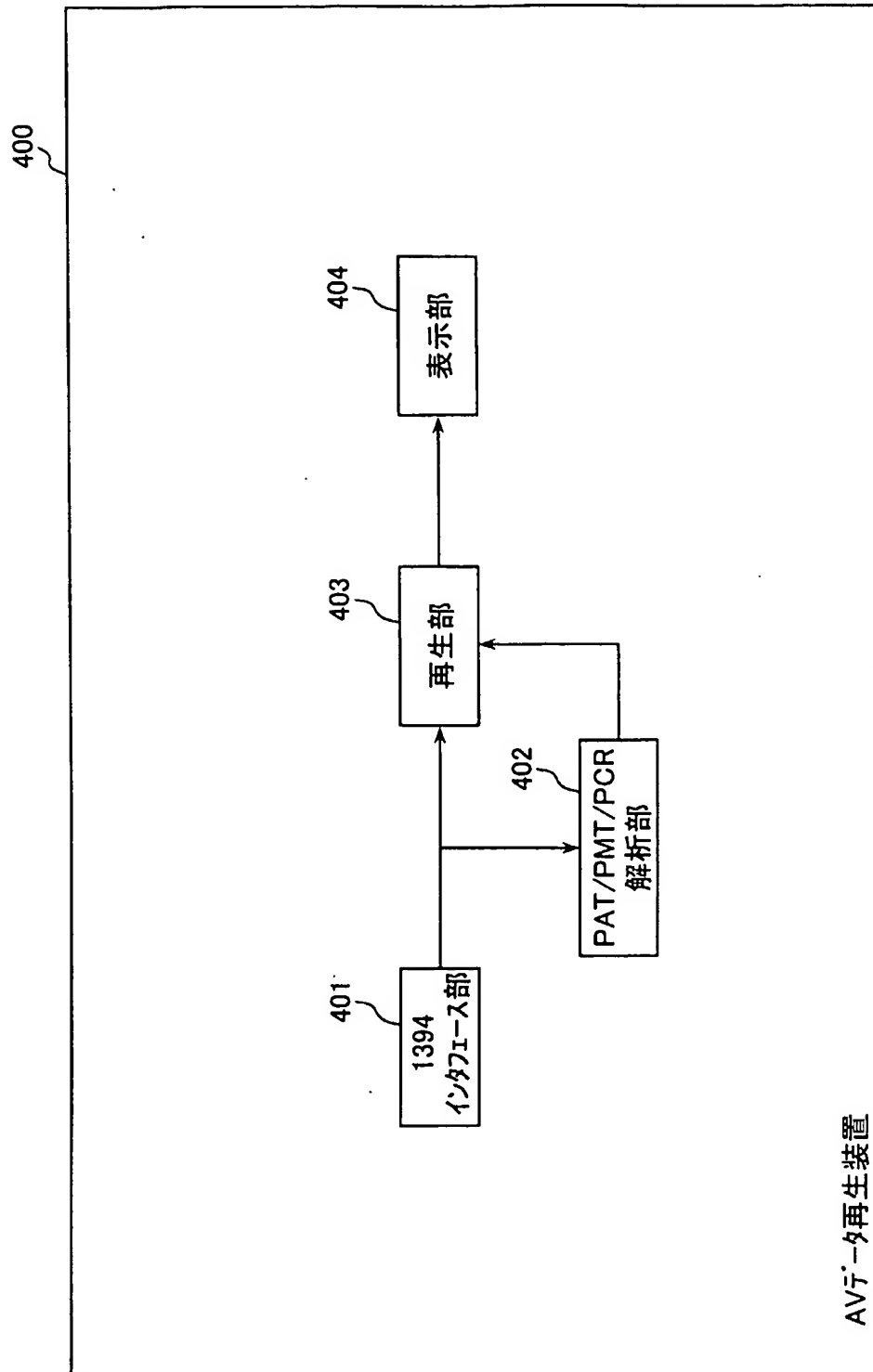


FIG.9

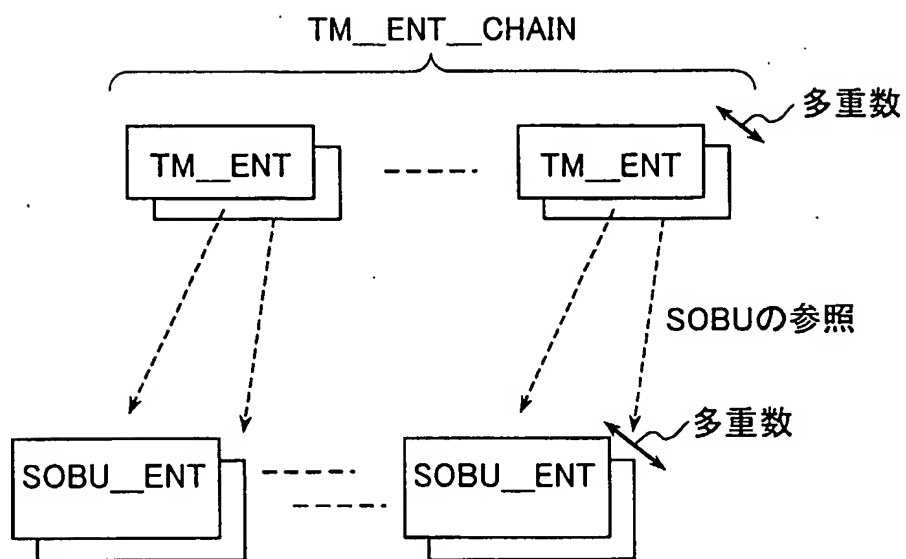


FIG.10

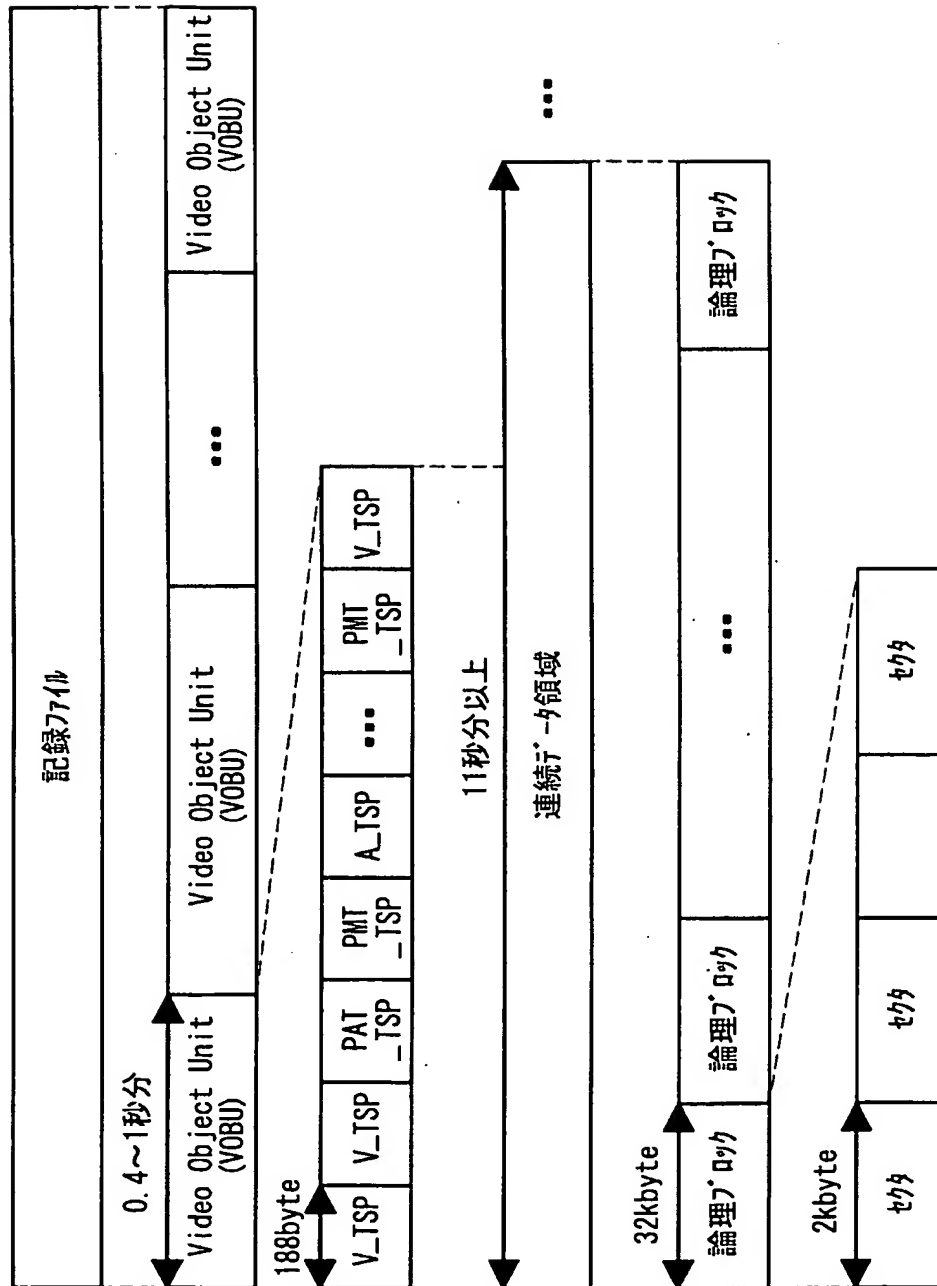


FIG. 11



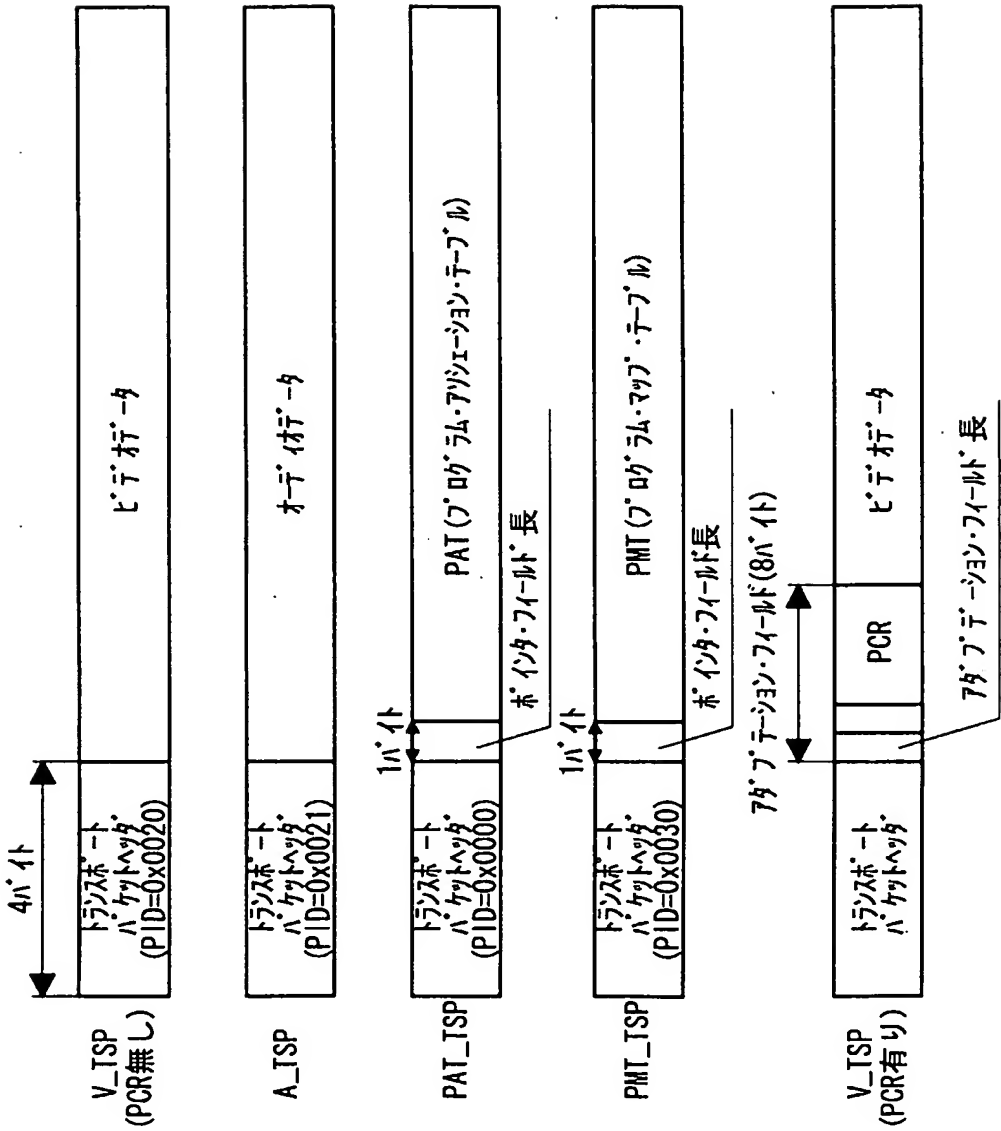


FIG. 12

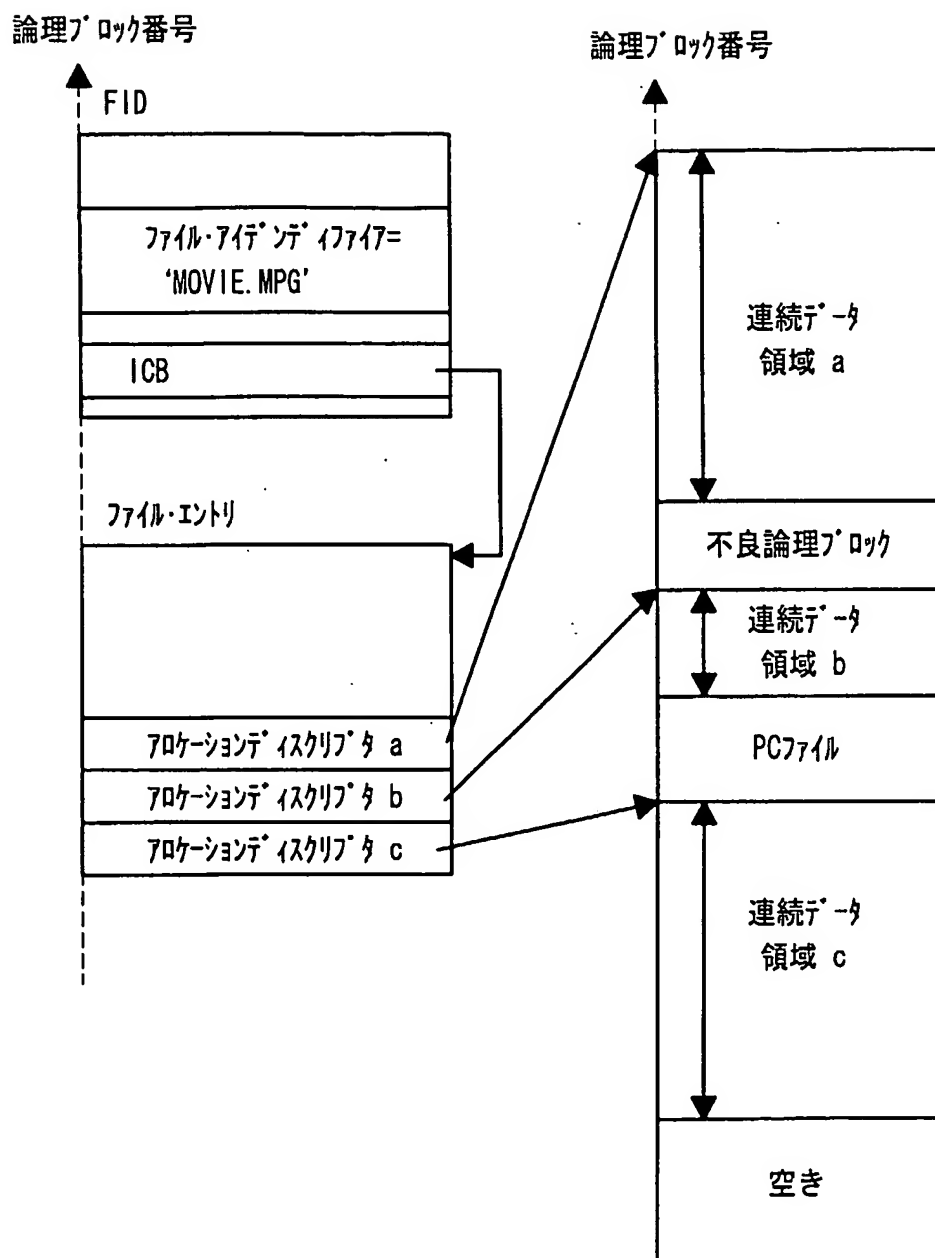


FIG. 13

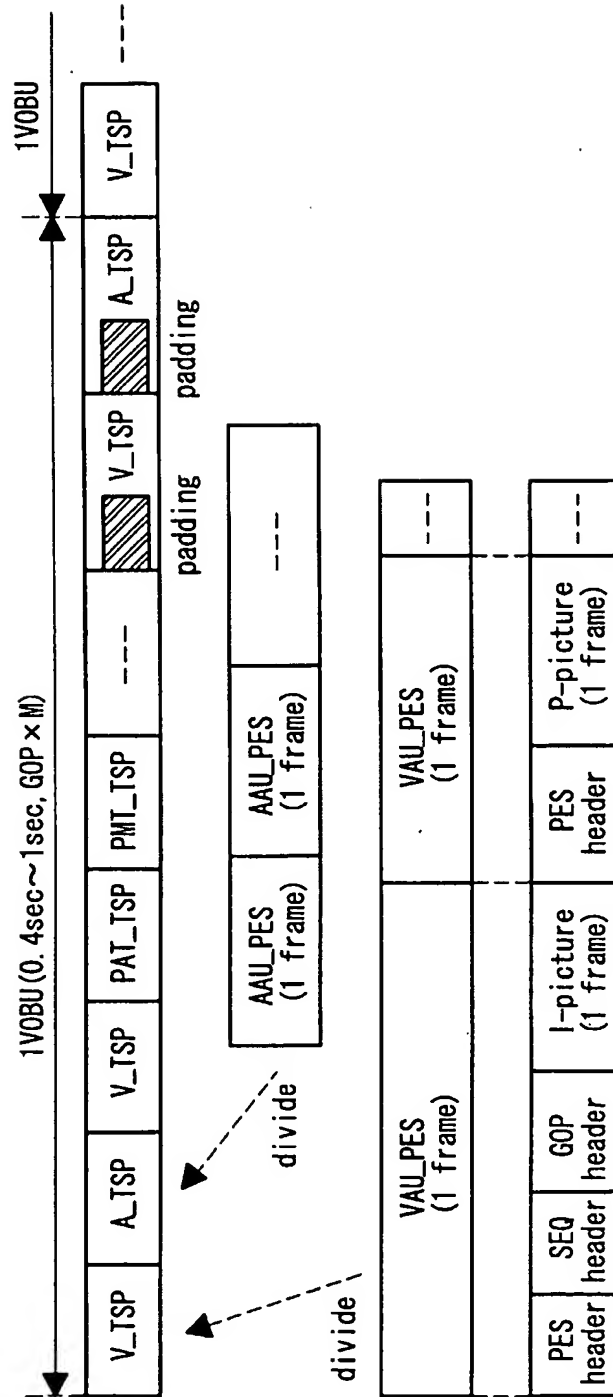


FIG. 14

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP02/03034

## A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl<sup>7</sup> H04N5/92

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl<sup>7</sup> H04N5/76-5/956, G11B20/10-20/12

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2002
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2002	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2002

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	WO 00/49803 A1 (Toshiba Corp.), 24 August, 2000 (24.08.00), Full text; Fig. 1 & US 2001/0010664 A & US 2001/0010671 A	7, 44, 72, 75, 77
A	JP 2000-268537 A (Toshiba Corp.), 29 September, 2000 (29.09.00), Full text; Figs. 1 to 40 & EP 1021048 A2	1-78
A	JP 11-155130 A (Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.), 08 June, 1999 (08.06.99), Full text; Figs. 1 to 28 & EP 0903738 A2 & WO 99/14754 A1 & US 6078727 A	1-78

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.
 ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:	"I" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier document but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

 Date of the actual completion of the international search  
26 June, 2002 (26.06.02)

 Date of mailing of the international search report  
09 July, 2002 (09.07.02)

 Name and mailing address of the ISA/  
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int Cl<sup>1</sup> H04N 5/92

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int Cl<sup>1</sup> H04N 5/76-5/956, G11B 20/10-20/12

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922-1996年  
 日本国公開実用新案公報 1971-2002年  
 日本国登録実用新案公報 1994-2002年  
 日本国実用新案登録公報 1996-2002年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	WO 00/49803 A1 (株式会社東芝) 2000.08.24 全文, 第1図 & US 2001/0010664 A & US 2001/0010671 A	7, 44, 72, 75, 77
A	JP 2000-268537 A (株式会社東芝) 2000.09.29 全文, 第1-40図 & EP 1021048 A2	1-78
A	JP 11-155130 A (松下電器産業株式会社) 1999.06.08 全文, 第1-28図 & EP 0903738 A2 & WO 99/14754 A1 & US 6078727 A	1-78

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの  
 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの  
 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)  
 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献  
 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの  
 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの  
 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの  
 「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

26.06.02

国際調査報告の発送日

09.07.02

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)  
 郵便番号 100-8915  
 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

鈴木 明

5C

9185

電話番号 03-3581-1101 内線 3541